

資料目録

吉嗣家資料目録

【凡例】

1. 本目録は、太宰府市公文書館が寄託を受けた吉嗣家資料の目録である。
2. 目録における表記は、原則として新字体を使用し、旧字体・異体字などは適宜改めた。ただし、一部の固有名詞および原史料からの引用部分（「 」を使用）については原文書の表記に従った。
3. 虫損や破損などによる欠損は、字数が判別できるものは□で字数を示し、字数が判別できないものは〔 〕で示した。塗抹により判読不能な文字は■で示した。
4. 目録の記載項目は番号、史料名、年月日、作成・宛所、形態とした。各項目の詳細は以下の通り。
 - (1) **番号** 原則として、史料の原秩序に基づき番号を与えた。一括、同折などでまとめられていたものについては、親番号を共有させ、子番号・孫番号を付した。
 - (2) **史料名** 史料名は各史料の原表題を採録しゴシック体で示した。原表題がないものは〔 〕を用いて仮表題を与えた。史料の概要と一括状況などについては、史料名の後に明朝体で付記した。
 - (3) **年月日** 漢数字はアラビア数字に改めた。原文書に年月日の記載はないが、内容などから比定可能なものについては〔 〕を用いて注記した。なお、年代を資料中の奥書以外のところから採用・推測した場合、(消印)などのように典拠箇所を付したものもある。年代に相当するものが複数存在する場合は早い方の年代を採用し、不明の場合は空欄とした。
 - (4) **作成・宛所** 史料の授受関係は矢印「→」を用いて示した(作成者→宛所)。作成者が不明の場合は空欄とした。押印などの情報は割愛した。
 - (5) **形態** 一紙・継紙・罫紙・専用紙・葉書・竪帳・横帳・綴・封筒・短冊の分類で採録した。その他これにあてはまらないものは、形態が分かるような用語で表現した。専用紙は、印刷などにより一定の様式が準備され必要事項を記入する形式になっているものに用いた。一紙・罫紙・専用紙で封筒・包紙のあるものについては、形態の後に(封筒)・(包紙)のように表現した。
 - (6) **その他** 資料中多く検出される為替金渡済通知書については、以下のような原則をたてた。
 - ・「作者」の項目には、県名・郵便局名を採用した。
 - ・為替金の受取人が判明する場合は、「受取人〇〇〇」のように示した。
 - ・未開封のものについては、封筒・消印などから県名・郵便局名を判読し、記載した。
 - ・郵便局および受取人住所については、県名のみを採用した。
5. 本目録は、太宰府市公文書館ホームページ (<http://www.city.dazaifu.lg.jp/bunshyo-bun/kobunshokan/dazaifushikobunshokantop.html>) での閲覧が可能である。

【解題】

吉嗣家資料は、現在も太宰府市内に居住する吉嗣家に伝来した資料群である。

吉嗣家は、梅仙・拝山・鼓山と三代続いた絵師の家であり、もとは太宰府天満宮に仕える神官の家柄であったが、梅仙の代より絵師の家として、その名を知られるようになった。吉嗣拝山は、太宰府のみならず、福岡および国内の南画界の中心として活躍した人物で、漢詩をよくする墨客としても知られていた。その子鼓山は、父に師事して、絵画の修行をつみ、太宰府天満宮を中心に多くの絵画を作成した。それぞれの経歴・作品は、『太宰府市史 建築・美術工芸資料編』（太宰府市、2002年）を参照されたい。また、拝山の年譜や基礎資料に関しては、長尾直茂氏の『吉嗣拝山年譜考證』（勉誠出版、2015年）に詳しい。

本資料は、大きく5つの群から構成されている。A～D群は、市史編さん室時代の調査で借用したものであるが、A群が籐籠に収められていた以外は、借用段階で段ボール箱に移し替えられており、伝来時の保管状況などについては不明である。E群は、平成27（2015）年に太宰府市文化ふれあい館で開催された「まるごと太宰府歴史展 2015」（平成27年8月8日～11月3日）にかかる調査で新たに発見された資料を公文書館が受け入れたものである。

資料は、拝山に関わるものが主であり、その性格は大きく次のように分けることが可能である。

- ①吉嗣拝山死去に関する資料（A・B群が中心）
- ②吉嗣拝山が吏員として活動していた時の資料（C群が中心）
- ③吉嗣拝山の創作活動（絵画・漢詩）に関する資料（D・E群が中心）
- ④その他

①は、本資料群中で数量的に最も大きなものである。吉嗣拝山は大正4（1915）年1月11日に70歳で没するが、その際に作成された葬儀関係資料、および拝山の画債償却事務関連書類が多く残されている。画債償却事務とは、拝山が生前に請けた揮毫依頼にともなう謝礼金や画材の返却事務のことである。拝山は画債の返却についてかねてから言い遺しており、子の鼓山・弟子の藤瀬冠邨らが中心となり事務所を設け、遺言執行にあたった。資料中に多く見られる為替金渡済通知書は、画債償却時に作成された書類である。受取人・受取金額・払い出し郵便局名などが記載されており、これらの分析から、当時の揮毫料の相場や拝山がどのような地域とつながりがあったのかを知ることができる。その他に、拝山の死去に対する弔電、弔文を記した書簡・はがきや送金受領の連絡、あるいは画材返却の督促の書簡・はがきなども含まれている。

吉嗣拝山は明治維新後、倉敷県令、修史局を勤めるが、その時の関連書類が②である。これらの資料は、資料の全体量に比するとさほど多くはないが、画家ないしは墨客としての拝山以外の姿を知る上で必要となろう。

③は、画家・墨客・詩家としての拝山の活動に関する重要な資料である。完成した絵画類はなく、墨書による下絵と思われるものなどがほとんどである。D群を中心に、さまざまな漢詩文が残されているが、なかには叱正を願う文言が記されているものや朱書による訂正などが入っているものもあり興味深い。注目すべきは、拝山が清国旅行をした際に記した「舌筆簿」（A-2）「筆以代舌以換言」（A-3）「筆以換舌字以換言」（A-4）「以筆換談」（A-5）である。これらは、旅行先の風景や中国画の模写などが描かれており、南画家拝山の形成過程を考える上で貴重である。今回新たに受け入れたE群には、拝山自筆の日記や草稿集（E-2、E-3）などが含まれる。「東游吟稿」（E-3）は、拝山が東京および京阪地方を旅游した時の詩稿であるが、「文辞に異同があり、定稿に到る前段階の草稿として資料的な価値は高い」（長尾、前掲書）と評価されている。

その他、特徴的な資料としては、D-6群の近世期の手形類がある。太宰府参詣に関するものであるが、宛所が南関番所になっている。伝来の経緯は不明であり、今後の検討を必要とする。また、ロシア語の単語帳・文法書などがまとまって含まれており、拝山の語学的興味の方角性を示す資料として注目される。

[付記] 本目録は、窪田祐記・梶嶋政司（元市史編さん室調査員）および御厨義道（元市史編さん室嘱託職員）が作成した目録をもとに、新たに借用した資料を加えて太田黒真美（太宰府市公文書館嘱託職員）が作成した。



図1 為替金渡済通知書（史料番号A-1-33）

為替金渡済通知書は、為替によって送金がなされた場合に送金が完了したことを為替振込人に連絡するものである。揮毫料の返済は為替でなされていた。発信元には留萌や台北の郵便局もあり、拝山の活動範囲の広さがわかる。

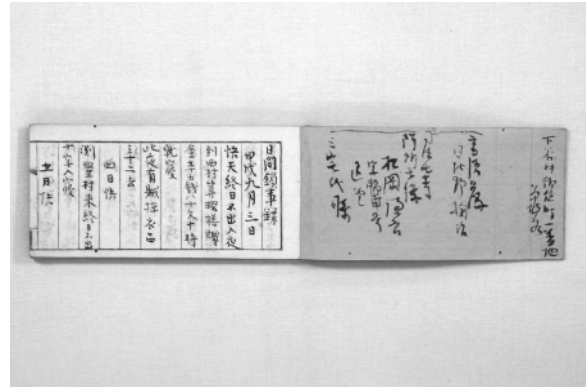


図2 日間鎖事録（史料番号C-38）

甲戌(明治7)年9月3日から12月18日までの日記。裏表紙に「拝山樓主単冊」とあることから、拝山の日記であると推測される。

番号	史料名	年月日	作成・宛所	形態
A-1-0	〔籙箋〕			籠
A-1-1	為替金渡済通知書 受取人岩田心斎、金5円	〔大正〕4.1.27(消印)	愛知県葉栗郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-2	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	□1.19(消印)	鳥根県大田郵便局→吉翁教(鼓カ)山殿	封筒
A-1-3	〔書簡〕 天長地久奉慶記念据置貯金会創立に際し、揮豪品募集の件	明治38年4月15日	天長地久奉慶記念据置貯金会発起人 樫尾銀子→吉嗣拝山先生	一紙
A-1-4	〔書簡〕 天長地久据置貯金会発会に際しての揮毫の件	〔明治38年〕(消印)4月9日	梅可(岐阜市)→拝山先生貴下	継紙
A-1-5	〔書簡〕 天長地久据置貯金会の発会式挙げるの件はか	〔明治37年〕8月13日	梅可(岐阜市)→拝山先生殿・松籟堂御主人殿	一紙
A-1-6-0	〔封筒〕	〔大正〕4.1.24(消印)	太宰府郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-6-1	為替金渡済通知書 受取人瀧義道、金200円	〔大正〕4.1.22(消印)	名古屋上島町郵便局	専用紙
A-1-6-2	為替金渡済通知書 受取人瀧義道、金50円	〔大正〕4.1.22(消印)	名古屋上島町郵便局	専用紙
A-1-6-3	為替金渡済通知書 受取人知和清、金5円	〔大正〕4.1.22(消印)	鹿島県上下郵便局	専用紙
A-1-7	〔葉書〕 病氣見舞	〔大正4年〕(消印)2月1日	堤義郎(鞍手郡)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-8	〔葉書〕 本日画帖吉田様より拙宅へ持参の由につき謝辞	〔大正4年〕(消印)3月7日	千艸安兵衛→吉嗣鼓山先生	葉書
A-1-9	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.31(消印)	宅野局→吉嗣鼓山先生殿	封筒
A-1-10	〔書簡〕 箱書の依頼の件	〔大正〕3.12.31	東京三越呉服店 中上善之進→吉嗣拝山先生御侍史	罫紙
A-1-11	〔書簡〕 絹敷并に書留にて金130円送付につき受取のこと	大正4年1月20日	有元義兵衛(尾道市)→吉嗣鼓山様	罫紙
A-1-12	〔墓碑〕 中村克巳(号 清節)の碑文案	〔明治末〕	前日出藩文学教授兼学寮舎監 吉弘精撰、前筑文学 鼓山吉嗣慶書	一紙

A-1-13	〔書簡〕 揮毫依頼、潤筆料10円	12月5日	仙田半畊拜上→吉嗣拜山先生侍史	一紙
A-1-14	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	愛知県一宮郵便局→吉嗣鼓山様	封筒
A-1-15-1	〔書簡〕 「第55号 返戻品目」金5円入金を謝す、吊文1句同封	大正4年1月18日	霞洲改星堂瓢王(大阪市)→吉嗣鼓山先生玉机下	一紙、短冊
A-1-15-2	〔短冊〕 拜山死去につき弔文、「吊拜山拂 雪明り 十数億土の旅安し 星堂瓢王」	〔大正4年1月18日〕		短冊
A-1-16-0	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.4(消印)	尾張浅井郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-16-1	為替金渡済通知書 受取人脇田秀名、金2円	〔大正〕4.2.4(消印)	尾張浅井郵便局	専用紙
A-1-16-2	為替金渡済通知書 受取人脇田秀名、金1円	〔大正〕4.2.4(消印)	尾張浅井郵便局	専用紙
A-1-17	為替金渡済通知書 受取人原田寛平、金5円	〔大正〕4.2.6(消印)	岡山県鴨方郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-18	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	熊本郵便→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-19	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	名古屋郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-20	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	三重県神戸郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-21	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	尾張国萩原局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-22	〔書簡〕 潤筆為替券44円送金の件	大正4年1月28日	櫻田半畊拜上→吉嗣鼓山先生閣下	一紙
A-1-23	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.26(消印)	鳥根県出雲国今市郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-24	為替金渡済通知書 受取人森本政吉、金5円	〔大正〕4.1.22(消印)	三重県木ノ本郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-25	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	呉郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-26	〔封筒〕	大正4年1月21日	京染呉服商 梅村半右衛門(京都市)→宮本様	封筒
A-1-27	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	越中国富山中野町郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-28	〔葉書〕 御送付の絵絹落手につきお礼	大正4年1月22日	呉服大物染反物商 一国武喜市(久留米市)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-29	〔葉書〕 金50円及び絹本3枚受取のこと	〔大正〕4年1月20日	柴田善右衛門(尾張)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-30	〔葉書〕 金250円郵便為換及び白絹15枚受取のこと	〔大正4年〕(消印)1月21日	瀧善洞(名古屋市)→吉嗣鼓山殿	葉書
A-1-31	〔葉書〕 御返戻の金品領収のこと	〔大正4年〕(消印)1月20日	奥沢清一郎(大坂府)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-32	〔書簡〕 未開封、付紙に「受信人ハ四国方面へ転居ノ由ナルモ一所在不明」とあり	大正4年1月20日	吉嗣鼓山→粕谷忠兵衛殿(小倉市)	封筒
A-1-33	為替金渡済通知書 受取人木下伊都磨、金50円	〔大正〕4.2.3(消印)	大阪中央郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-34	〔書簡〕 以前依頼した画幅に対する画料の返金を領収した旨	大正4年1月20日	川合彦四郎(尾張国)→吉嗣鼓山殿	罫紙
A-1-35	第九七号領収証 金90円、絹本8枚、続本3枚、小切2枚、扇子2本、扇形4枚返戻領収のこと	大正4年1月20日	青柳アサ(福岡市)→吉嗣鼓山先生	罫紙
A-1-36	〔書簡〕 かねて依頼の毫料金2円、絹本御返戻のこと	〔大正4年〕(消印)1月19日	野崎慎一(三重県)→吉嗣鼓山殿	罫紙
A-1-37	〔書簡〕 かねて依頼の件につき御返送の金60円掛軸1幅領収のこと	〔大正〕4.1.20(消印)	幸田常太郎(備後)→吉嗣鼓山先生玉机下	一紙
A-1-38	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	尾張国萩原郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-39	為替金渡済通知書 受取人森竹平、金200円	〔大正〕4.1.20(消印)	愛知県葉栗郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-40	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	備後国府中郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-41	日本南画協会々報第壹集	〔明治〕		罫帳
A-1-42	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	備後国府中郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-43	加勢人名控帳 拜山の葬式につき加勢人名簿	大正4年1月11日		横帳
A-1-44	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.25(消印)	愛知県亀崎郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-45	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	愛知県知立郵便局	封筒
A-1-46	吊電 吊電受信者名書上	〔近代〕		罫帳
A-1-47	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.1(消印)	愛知県拳母郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-48	為替金渡済通知書 受取人中山賢雄、金2円	〔大正〕4.1.18(消印)	熊本郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-49	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	東京芝愛宕浜郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-50	〔書簡〕 絹布及び潤筆料返送のお礼	〔大正4年〕(消印)1月25日	安積重治郎(兵庫県)→吉嗣鼓山様	一紙

A-1-51	為替金渡済通知書	受取人浅見中二、金2円	[大正]4.2.16(消印)	武蔵国深谷郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-52	為替金渡済通知書	受取人宇野一省、金1円	[大正]4.2.17(消印)	山口県呼坂郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-53	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.20(消印)	博多濱小路郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-54	葬式役張	庶務掛、接待などの役割と人名の書上	[近代]		横帳
A-1-55	[記]	「荷花及岩水仙秀山筆 外ニ書額」とあり	[近代]		一紙
A-1-56	為替金渡済通知書	受取人長坂徳次郎、金50円	[大正]4.1.23(消印)	尾張国緒川郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-57	為替金渡済通知書	金125円	[大正]4.1.23(消印)	名古屋郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-58	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.18(消印)	大坂上本町丸→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-59	第百八八号返戻品目	90円券及び絹の受取	[大正]4.1.23(消印)	柴田善右衛門(尾張)→吉嗣鼓山殿	一紙
A-1-60	為替金渡済通知書	受取人福中正男、金5円	[大正]4.1.22(消印)	鳥取県尾高郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-61	為替金渡済通知書	受取人今井直正代人吉本紋三郎、金20円	[大正]4.1.23(消印)	富山郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-62	為替金渡済通知書	受取人大村慶太郎、金10円	[大正]4.1.20(消印)	岡崎郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-63	為替金渡済通知書	受取人高橋久太郎、金5円	[大正]4.1.19(消印)	鶏知郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-64	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.20(消印)	愛媛県八幡濱郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-65-1	為替金渡済通知書	受取人西原善平、金20円	[大正]4.1.20(消印)	尾道長江郵便局(広島県)	専用紙
A-1-65-2	為替金渡済通知書	受取人有之儀兵衛、金130円	[大正]4.1.20(消印)	尾道長江郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-66	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.19(消印)	富山郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-67	為替金渡済通知書	受取人真鍋才助、金10円	[大正]4.1.19(消印)	徳島県川田郵便局長→吉嗣龍正殿	専用紙
A-1-68	為替金渡済通知書	受取人青柳アサ、金90円	[大正]4.1.20(消印)	博多千歳郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-69	[封筒]	「筑前太宰府故拜山男吉嗣鼓山」とあり	大正4年1月		封筒
A-1-70	[封筒]	「筑前太宰府故拜山男吉嗣鼓山」とあり	大正4年1月		封筒
A-1-71	[封筒]	「筑前太宰府故拜山男吉嗣鼓山」と差出人名がある封筒	大正4年1月		封筒
A-1-72-0	[封筒]	A-1-72-1~3を同封	[大正]4.1.26(消印)	太宰府郵便局	封筒
A-1-72-1	為替金渡済通知書	受取人高田武一、金25円	[大正]4.1.25(消印)	西浜郵便局→太宰府局御中	専用紙
A-1-72-2	為替金渡済通知書	受取人糸野糸三郎、金5円50銭	[大正]4.1.22(消印)	愛知県七宝郵便局長鈴木甚五郎	専用紙
A-1-72-3	為替金渡済通知書	金40円	[大正]4.1.23(消印)	大阪木津川郵便局	専用紙
A-1-73-1	為替金渡済通知書	受取人野崎慎一、金12円	大正4年1月19日	久居郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-73-2	為替金渡済通知書	受取人貫名日靖、金3円	大正4年1月19日	備前国牛窓郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-74	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.26(消印)	愛媛県西條郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-75	為替金渡済通知書	受取人星堂霞洲、金5円	[大正]4.1.18(消印)	高麗橋郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
A-1-76	為替金渡済通知書	受取人吉塚源五郎、金50円	[大正]4.2.18(消印)	福岡県北野郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-77	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.22(消印)	山鹿郵便局(熊本県)→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-78	[封筒]	「薄謝 箱書料」とあり	3月15日	→田中千代様	封筒
A-1-79	為替金渡済通知書	受取人池田重太郎、金20円	[大正]4.1.22(消印)	富山県上市局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-80	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.21(消印)	濱松連尺郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-81	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.21(消印)	愛媛県西条郵便局→吉嗣鼓(ママ)殿	封筒
A-1-82-0	[紐]				紐
A-1-82-1	[書簡]	揮毫料支払いの件につき詮議を願う	[大正4] (消印)1月31日	鈴木久次郎(高松市)→吉嗣家残務整理係御中	継紙
A-1-82-2	[葉書]	為替券5円案内書送付の依頼	[大正]4.1.27(消印)	吉村金作(島根県)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-82-3	[書簡]	拜山先生御逝去につき預けていた品が返却されたが、統が洩れていないかという問い合わせ	[大正4] (消印)1月25日	藤村五郎(香川県)→吉嗣鼓山先生	継紙
A-1-83	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.21(消印)	愛知県木曾川郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-84	[通信事務封筒]	未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.21(消印)	尾張国萩原郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-85	為替金渡済通知書	受取人浅野徳三郎、金25円	[大正]4.1.18(消印)	備後国府中郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-86	[葉書]	御灯電の塩瀬見本送付のこと	大正4年1月31日	京染呉服商 梅村半右衛門→吉嗣鼓山殿	葉書

A-1-87	〔葉書〕 返品受領のこと	〔大正4〕卯1月19日 夕	谷上東暎→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-88	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.18(消印)	大阪府濱寺郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-89-1	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	尾道郵便局→吉嗣尉(ママ)山殿	封筒
A-1-89-2	為替金渡済通知書 金30円	〔大正〕4.1.19(消印)	柳河郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-90	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	竹ヶ鼻郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-91-0-1	〔封筒〕	〔大正〕2.1.12(消印)	井上吉兵衛(尾道)→吉嗣先生様	封筒
A-1-91-0-2	〔封筒〕	大正元年8月5日	井上吉兵衛→吉嗣拝山様	封筒
A-1-91-1	〔書簡〕 拝山先生への揮毫依頼	大正元年8月5日	井上吉兵衛→吉嗣拝山先生様御家門様御中	継紙
A-1-91-2	〔書簡〕 拝山先生への揮毫依頼、揮毫料は500円	7月30日	二生吉拝→井上大人	一紙
A-1-91-3	〔書簡〕 吉嗣先生へ山水幅6枚、日額1枚の揮毫依頼	1月11日	井上吉兵衛→吉嗣先生	継紙
A-1-92	〔書簡〕 拝山先生御祭礼記念の品受取につきお礼ほか	大正4年2月19日	岡仁一郎(久留米市)→吉嗣鼓山先生	継紙
A-1-93	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	笠松郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-94	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	鯉郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-95-0	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.9(消印)	大阪本町郵便局→吉嗣鼓山様	封筒
A-1-95-1	為替金渡済通知書 受取人大阪市尾寄卸商支店、金200円	〔大正〕4.2.9(消印)	大阪町郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-95-2	為替金渡済通知書 受取人大阪市尾寄卸商大阪支店、金50円	〔大正〕4.2.9(消印)	大阪町郵便局→吉嗣鼓山様	専用紙
A-1-96	為替金渡済通知書 受取人鈴木久次郎、金45円	〔大正〕4.2.9(消印)	高松郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-97	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	岐阜県関町郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-98	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.27(消印)	大分県糸口郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-99	為替金渡済通知書 受取人田中雄亮、金10円	〔大正〕4.1.26(消印)	山口県高森郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-100	〔葉書〕 尾井焼の器落手の知らせ、拝山先生筆の扇面御恵贈へのお礼	〔大正4〕(消印)3月4日	岡田開次郎(長野県)→吉嗣拝山方鼓山先生様	葉書
A-1-101	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.18(消印)	岐阜郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-102	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	呉郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-103-1	領収証 大正4年1月分の計量灯の代金3円22銭の領収証	大正4年2月4日	九州水力電気株式会社福岡出張所→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-103-2	領収証 大正4年1月分街灯代金40銭の領収証	大正4年2月4日	九州水力電気株式会社福岡出張所→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-104	為替金渡済通知書 受取人井上吉兵衛、金110円	〔大正〕4.1.19(消印)	尾道長江郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-105	通常為替金受領證書 金20円、弘渡局愛媛県西條	〔大正〕4.1.24(消印)	〔太宰府郵便局〕	専用紙
A-1-106	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.27(消印)	長野県長野新町郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-107	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.27(消印)	三重県神戸郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-108	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	福岡大工町局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-109	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	小倉郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-110	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	宇島郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-111	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	越後片貝郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-112	為替金渡済通知書 受取人森林平、金57円	〔大正〕4.1.20(消印)	アイチ葉栗郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-113	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正4〕1.20(消印)	富山郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-114	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	神戸三宮郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-115	為替金渡済通知書 受取人合資会社加島銀行京都支店、金50円	〔大正〕4.1.20(消印)	京都郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-116	〔葉書〕 拝山逝去に対するお悔み、返還された潤筆料受領の知らせ	〔大正4〕1月20日	大橋武左衛門(尾張国)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-117	為替金渡済通知書 受取人磯永又雄代人磯永晴子、金50円	〔大正〕4.1.25(消印)	久留米郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-118	為替金渡済通知書 受取人鶴原延年、金5円	〔大正〕4.2.27(消印)	山口県奈美郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-119-1	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.29(消印)	酒田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-119-2	〔書簡〕 拝山死去へのお悔み、預けていた品返送のお礼	〔大正4.1.〕(消印)18日	難波俊二(門司市)→吉嗣若先生机下	継紙(封筒)

A-1-120	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.10(消印)	香川県観音寺郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-121	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	愛知県瀬戸郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-122	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	酒田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-123	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	酒田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-124	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.27(消印)	福山胡町局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-125	〔書簡〕	拝山先生の病氣見舞	大正4乙卯年5日	中部亮道(大阪)→吉嗣鼓山先生	一紙 (封筒)
A-1-126	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.3(消印)	愛知県起郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-127-1	〔葉書〕	拝山逝去に対するお悔み、依頼しておいた絵画の進み具合について再調を願う	〔大正〕4.1.18(消印)	絹綿染糸卸商田中商店(愛知県)→船越関次郎様	葉書
A-1-127-2	〔葉書〕	4年前に依頼した揮毫が出来ているかに関わらず預けていた画絹の返送を願う	〔大正4〕(消印)1.18	温湯良太郎(鞍手郡)→吉嗣鼓山殿	葉書
A-1-128	〔書簡〕	依頼していた揮毫の催促、送費として郵便切手12銭を添付したこと	大正2年12月11日	篠原資(呉市)→吉嗣鼓山先生	罫紙 (封筒)
A-1-129	〔書簡〕	揮毫を依頼し料金を支払ったはずの横物1枚について未着のため取調願ひ	〔大正4年〕(封筒)第1月30日	絹綿染糸卸商田中商店田中英三郎(愛知県)→吉嗣拝山様	罫紙 (封筒)
A-1-130	〔葉書〕	父拜山の死亡通知と葬儀の案内、封筒に「行先不明」「大宰府局戻し」の貼紙あり	〔大正4〕(消印)1月11日	吉嗣鼓山→田村長太郎殿(浮羽郡)	葉書 (封筒)
A-1-131	〔書簡〕	拝山葬儀に際しての御供物のお礼	大正4年1月17日	限	一紙
A-1-132	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	名古屋郵便局→吉嗣鼓(ママ)殿	封筒
A-1-133	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	大阪川口郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-134	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	佐賀県大川野郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-135	為替金渡済通知書	金10円、「一月廿七日交換払ニヨリ払渡済」とあり	〔大正〕4.1.28(消印)	船場郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-136	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.28(消印)	桑名郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-137	為替金渡済通知書	受取人富永藤兵衛、金1円10銭	〔大正〕4.1.29(消印)	〔大阪新町五〕(消印)→吉嗣鼓山御中	専用紙
A-1-138	〔名刺〕	「秋山利三郎 備前国児島郡天城」とあり	〔近代〕		一紙
A-1-139	〔書簡〕	遺墨半折沓葉が無事到着したお礼、石壺は陶器窯元	大正4年2月9日(封筒裏書)	石壺(岐阜県)→吉嗣鼓山殿机下	一紙 (封筒)
A-1-140	〔書簡〕	返却金10円を落手したが記憶になく間違ではないかとの問い合わせ	〔大正4〕(消印)1月21日	橋本正十郎(西戸崎)→吉嗣鼓山先生侍史	罫紙 (封筒)
A-1-141	〔書簡〕	揮毫依頼の現品及び謝礼金返却のお礼、梅山と拝山の作品所持のこと	〔大正4〕(消印)1月21日	石川猪太郎(愛知県)→吉嗣鼓山殿	罫紙 (封筒)
A-1-142	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	小倉郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-143	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.15(消印)	福岡郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-144	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	佐賀県岩屋郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-145	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.24(消印)	成岩郵便局(愛知県)→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-146	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.23(消印)	東京赤坂溜池郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-147	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	熱田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-148	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.26(消印)	博多濱小路郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-149	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.26(消印)	筑前黒崎郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-150	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.13(消印)	西新町局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-151	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.31(消印)	信濃中野郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-152	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.23(消印)	福岡県千足郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-153	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.24(消印)	愛知県一宮郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-154	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	愛知県扶桑郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-155	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	熊本坪井郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-156	〔書簡〕	拝山翁逝去に対するお悔み、先日御返送された品落手のお礼	大正4年3月7日	安藤惣蔵(豊後高田町)→吉嗣鼓山様	罫紙 (封筒)
A-1-157	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.8(消印)	山口県深川郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-158	〔書簡〕	拝山死去に対するお悔み、依頼していた揮毫料金10円の払い戻しを求める	大正4年1月17日	村瀬善三郎(愛知県)→吉嗣鼓山様	一紙 (封筒)
A-1-159-0	〔封筒〕		〔大正4〕(消印)1月26日	菰田儀平(伊豫国)→吉嗣鼓山様御内清理委員御中	封筒

A-1-159-1	〔書簡〕 鼓山先生はじめ高弟3名が合作した作品を箱書のために郵送しておいたが、その返送を請う	〔大正4〕1月26日	菰田儀平(伊豫国)→吉嗣鼓山先生 様清理御中	一紙
A-1-159-2	〔葉書〕 十七銀行小切手110円落手の知らせ	〔明治43〕(消印)6月13日	吉嗣拝山執事→菰田儀平様	葉書
A-1-159-3	〔葉書〕 為替金20円拝受の知らせ	〔大正元〕(消印)3月23日	吉嗣拝山執事→菰田儀平様	葉書
A-1-159-4	〔葉書〕 小包箱落手の知らせ	〔大正4〕(消印)1月26日	菰田儀平→吉嗣鼓山様執事御中	葉書
A-1-160	為替金渡済通知書 受取人瓜生國松、金50円	〔大正〕4.1.20(消印)	福岡県碓井郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-161	〔葉書〕 画絹・写真の受取のお礼	〔大正4〕1月30日	古々堂(大阪)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-162	〔葉書〕 拝山先生逝去に対するお悔み、染筆料返戻領収の知らせ	〔大正〕4.1.19	横堀庄八(群馬県伊勢崎町)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-163	〔書簡〕 御返戻の品金110円、絹13枚入手の知らせ	〔大正4〕1月19日	井上吉兵衛→吉嗣鼓山先生	一紙 (封筒)
A-1-164	〔葉書〕 御返戻金25円拝納のこと	大正4年1月21日	広瀬玄銀(福岡市)→吉嗣鼓山殿	葉書
A-1-165	〔葉書〕 為替券18円并に絹地2枚落手のこと	〔大正4〕1月19日	塩屋熊吉(備中郡)→吉嗣鼓山先生	葉書
A-1-166	〔葉書〕 拝山逝去に際しての見舞、絹本1枚、揮毫料金25円返戻受領の知らせ	〔大正〕4.1.21(消印)	高田武一(岡山県)→吉嗣鼓山先生殿	葉書
A-1-167	〔葉書〕 返却された扇6本の受取と父源吾が先年死去したことの知らせ	〔大正4〕(消印)1月20日	吉塚リン(三井郡)→吉嗣鼓山殿	葉書
A-1-168	〔葉書〕 拝山先生逝去に対するお悔み、絹及び潤筆料1円為替の領収の知らせ	〔大正4〕(消印)1月19日	森園太郎(上毛新田)→吉嗣拝山先生御侍吏	葉書
A-1-169-1	〔書簡〕 画絹2葉、金20円領収の知らせ	〔大正4〕(消印)1月21日	水谷茂三郎(三池郡)→吉嗣鼓山殿	一紙 (封筒)
A-1-169-2	〔書簡〕 故拝山先生の揮毫統本保存の通知に対する返答	〔大正4〕(消印)1月24日	近藤茂五郎(久留米)→吉嗣鼓山先生	一紙 (封筒)
A-1-170	〔葉書〕 為替券125円券受取の知らせ	〔大正4〕(消印)1月20日	渡邊三作(東京深川)→吉嗣鼓山様貴下	葉書
A-1-171	〔葉書〕 金67円受取の通知	〔大正4〕(消印)1月26日	鈴木了道(三河国)→吉嗣鼓山殿	葉書
A-1-172	領収証 揮毫料金5円の領収証	大正4年3月16日	矢野吉郎→吉嗣様	罫紙
A-1-173	〔葉書〕 為換金5円及び小包の受取通知、拝山先生ご他界につきお悔みのこと	〔大正〕4.2.12(消印)	原田寛平(岡山県)→吉嗣鼓山先生執事	葉書
A-1-174	〔書簡〕 拝山逝去に対するお悔み、統地及び金員の受取通知	〔大正4〕(消印)1月24日	下寺徳義(熊本県立工業学校)→吉嗣鼓山先生尊前	一紙 (封筒)
A-1-175-1	〔書簡〕 拝山逝去に対するお悔み、絹地及び御一封20円の返却受取通知	〔大正4〕(消印)1月24日	大内義雄(豊後)→吉嗣鼓山先生	一紙 (封筒)
A-1-175-2	返礼品目 「絹尺八巾式葉小包」とあり、A-1-175-1の別紙	〔大正4年1月24日〕	〔大内義雄〕	一紙
A-1-176	為替金渡済通知書 受取人松崎吉太郎、金10円	〔大正〕4.1.22(消印)	杵築郵便局→吉嗣鼓山御中	専用紙
A-1-177	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	尾張国萩原郵便局→吉嗣鼓山先生	封筒
A-1-178	為替金渡済通知書 受取人酒井田柿右エ門、金20円	〔大正〕4.1.20(消印)	有田郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-179	為替金渡済通知書 受取人筒井常松、金45円	〔大正〕4.1.18(消印)	福井県大野郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙 (封筒)
A-1-180	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	愛知県東枇杷島郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-181	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	長崎県佐須奈郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-182	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	西尾郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-183	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	大分県香々地局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-184	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	姫路船場局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-185	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	愛知県瀬戸郵便局→吉嗣鼓山様	封筒
A-1-186	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	北濱郵便局(大阪)→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-187	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	香川県仁尾郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-188	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	飯田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-189	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	伊豫国松山郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-190	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	愛知県一宮郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-191	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.23(消印)	小倉田町郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-192	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	三重県白子郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒

A-1-193	【書簡】 以前依頼の画幅の金具及び絹地返却催促の件	大正4年1月31日	中江巽(早良郡)→吉嗣鼓山先生 藤瀬冠村先生閣下	一紙(封筒)
A-1-194	【書簡】 金85円領収の由、当方お預りの金品についての調査依頼	大正4年1月22日	絹綿染糸卸商田中商店(愛知県)→吉嗣鼓山殿	罫紙(封筒)
A-1-195	【葉書】 昨年依頼の画帳、冠邨先生方へ渡されていないか御一報のこと	〔大正4〕(消印)1月31日	鹿島松次郎(博多)→吉嗣鼓山殿	葉書
A-1-196	悔状 拜山死去についてお悔み、亡父25回忌にて葬儀に参列せざる旨通知	大正4年1月12日	梅村半右衛門→藤瀬冠村殿(吉嗣鼓山方)	一紙(封筒)
A-1-197	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	富山神通郵便局→吉嗣鼓山様	封筒
A-1-198-1	【書簡】 以前依頼の揮毫につき完成していたら送付されたい、吉嗣家に預けている絹扇などの書上	〔大正4〕(消印)1月26日	原田寛平拝進→吉嗣拜山先生御内同若先生様侍史	罫紙(封筒)
A-1-198-2	【記】 送付先住所を記す、A-1-198-1の別紙	〔大正4年1月26日〕		一紙
A-1-199	【書簡】 画葉紙及び謝儀代返送依頼の件	大正4年1月25日	村瀬(呉三郎)拜(愛知県)→吉嗣先生貴下	一紙(封筒)
A-1-200	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.3(消印)	島根県大田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-201	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.6(消印)	名古屋東門前町郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-202	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.2(消印)	愛知県安城郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-203	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.3(消印)	熊本県大津郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-204	為替金渡済通知書 受取人久野庸生、金10円	〔大正〕4.2.1(消印)	田丸郵便局(三重)→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-205	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.4(消印)	佐賀県唐津局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-206	為替金渡済通知書 受取人吉田米三郎、金20円	〔大正〕4.1.23(消印)	小樽港町郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-207	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	兵庫県北條郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-208	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.27(消印)	東京小石川林町郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-209	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	鶴居局(大分)→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-210	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.8(消印)	愛知県木曾川郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-211	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	新潟県樺屋敷郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-212	為替金渡済通知書 受取人井城清次郎、金2円	〔大正〕4.1.19(消印)	富山郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
A-1-213	為替金渡済通知書 受取人佐藤右馬太郎、金50円	〔大正〕4.3.6(消印)	熊本県熊本山崎町郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
A-1-214	【書簡】 以前依頼の揮毫料金10円、織物返却受取のこと	〔大正4〕(消印)1月22日	森勘市(尾州中島郡花井方村)→吉嗣鼓山先生	罫紙(封筒)
A-1-215	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.18(消印)	大和五條郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-216	【書簡】 以前依頼の揮毫料、絵絹2枚、吉住政吉方分の絵絹2枚、金10円の返却願い	〔大正4〕(消印)2月7日	越山富貴(遠賀郡)→吉嗣鼓山殿	一紙(封筒)
A-1-217	【書簡】 拜山先生死去に対するお悔み、本月小包(画状絹本紙本)、封書(為替)受取のこと	大正4年1月20日	聖会本場慈恵薬院主事 安藤光葆(愛知県)→吉嗣鼓山殿	罫紙(封筒)
A-1-218	【書簡】 貴当地の絵師南春涛(中学校教師)が近来拙宅へ参り金10円での揮毫依頼の由、宜しく執り成されたいとのこと	〔明治〕44年9月30日	篠原資(呉市篠原法律事務所)→吉嗣鼓山先生	一紙(封筒)
A-1-219	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.2.11(消印)	臺灣臺北郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-220	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	熊本細工町局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-221	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	蘆屋郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-222	為替金渡済通知書 受取人安藤断幹、金60円	〔大正〕4.1.20(消印)	岡崎郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
A-1-223	為替金渡済通知書 受取人田中イソ、金20円	〔大正〕4.2.18(消印)	福岡荒戸郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
A-1-224	為替金渡済通知書 受取人欄に「摘要」とあり、金15円	〔大正〕4.1.19(消印)	岡山郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
A-1-225	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.21(消印)	福山胡町局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-226	【書簡】 揮毫料為替受取、拜山作品切望のこと	大正4年1月17日(封筒裏書)	徳田元作拜(岡山県)→吉嗣鼓山先生閣下	一紙(封筒)
A-1-227	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	筑後大善寺局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-228	【通信事務封筒】 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	備後国府中郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-229	【記】 塩瀬帛紗、荒風呂敷、箱ほか4種荷造料、手付金、計367円54銭書上	大正4年2月10日	京染呉服商 梅村半右衛門(京都市)→吉嗣様	一紙

A-1-230	為替金渡済通知書	受取人中寺清吉、金50円	〔大正〕4.1.18(消印)	後藤寺郵便局→吉嗣拝山殿	専用紙 (封筒)
A-1-231	為替金渡済通知書	受取人松居織工場代人猪田豊三、金10円	〔大正〕4.1.18(消印)	福岡郵便局→吉嗣拝山殿	専用紙 (封筒)
A-1-232	為替金渡済通知書	受取人末田実、金10円	〔大正〕4.1.18(消印)	豊後国別府郵便局→吉嗣拝山殿	専用紙 (封筒)
A-1-233	為替金渡済通知書	金50円	〔大正〕4.1.18(消印)	門司郵便局→吉嗣拝山殿	専用紙 (封筒)
A-1-234	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	鳥栖郵便局→吉嗣拝山殿	封筒
A-1-235	為替金渡済通知書	受取人横堀庄八、金100円	〔大正〕4.1.19(消印)	上野国伊勢崎局→吉嗣拝山殿	専用紙
A-1-236-1	為替金渡済通知書	受取人坪内竹窓、金105円、A-1-236-2と同折	〔大正〕4.1.18(消印)	愛知県萩原郵便局長→〔吉嗣鼓山殿〕	専用紙
A-1-236-2	為替金渡済通知書	受取人海老名表具師海老名勇、金50円、A-1-236-1と同折	〔大正〕4.1.20(消印)	久留米郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-237-1	〔書簡〕	かねての潤筆料領取、中馬様の潤筆料10円筆紙墨料1円50銭のうち10円返戻、葉書(A-1-237-2)同封	〔大正4年〕(消印)1月25日	久野庸正(三重県田丸町)→吉嗣拝山先生執事御中	罫紙 (封筒)
A-1-237-2	〔葉書〕	風景画希望なれど求めに及びがたし、一筆画の竹(A-1-237-1)・梅ならお送りしたいとの旨回答、封筒に同封	〔大正〕3.4.3(消印)	吉嗣拝山執事→久野庸生様(三重県)	葉書
A-1-238	為替金渡済通知書	受取人川合孝次、金10円	大正4年1月25日	岡山磨屋町郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙 (封筒)
A-1-239	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.22(消印)	宇佐郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-240	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	日向田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-241	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.26(消印)	愛媛県八幡濱郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-242	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.28(消印)	香川県上高瀬郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-243	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.28(消印)	大分県富來郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-244	〔葉書〕	未使用、絵葉書			葉書
A-1-245	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.28(消印)	名古屋郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-246	〔書簡〕	三十日祭執行につき祭文送付、かねての潤筆料・絹返送受取のこと	大正4年1月31日夜(封筒裏書)	井上吉兵衛(尾道市)→吉嗣鼓山先生閣下	罫紙 (封筒)
A-1-247	為替金渡済通知書	受取人氏名無記入、金10円	〔大正〕4.1.22(消印)	北方郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙 (封筒)
A-1-248	為替金渡済通知書	受取人佐野平太郎、金20円	〔大正〕4.1.18(消印)	岡山郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙 (封筒)
A-1-249	〔書簡〕	第93号払戻品目、父拝山死去により執筆に至らなかったことに対するお詫びと預かっていたものを返却する旨	大正4年1月20日	吉嗣鼓山→三橋千穎殿(熊本市)	封筒
A-1-250	〔葉書〕	以前揮毫依頼していたが拝山死去につき揮毫料返送に対する謝意	〔大正4〕(消印)1月19日	岡村菜郎(越后)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-251	〔書簡〕	拝山先生逝去に対するお悔み、金50円領取の由	〔大正4〕1月21日	桑田勝平(伯耆国)→吉嗣鼓山様	一紙 (封筒)
A-1-252	〔葉書〕	1個3銭の箱5日11時頃までに拙宅へ届けさせるとの由	〔大正4年以前〕	宮本主致(福岡簗子町)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-253	〔葉書〕	今回秘蔵の拝山先生御遺墨分与につき謝意	〔大正〕4.2.26(消印)	清水石仙(伊勢二見浦)→吉嗣鼓山先生	葉書
A-1-254	為替金渡済通知書	受取人大岩原之、金10円	大正4年1月18日	愛知県豊浜郵便局→吉嗣龍山御印	専用紙 (封筒)
A-1-255	為替金渡済通知書	受取人藤川庸松、金5円	〔大正〕4.1.19(消印)	香川県和田浜郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙 (封筒)
A-1-256	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.18(消印)	小倉郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-257	為替金渡済通知書	受取人秋山利三郎、金10円	大正4.1.20(消印)	天城郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙 (封筒)
A-1-258	〔葉書〕	拝山先生御逝去に対するお悔み、以前依頼していた匣揮毫の代金と小包みを領取したこと	〔大正4年〕(消印)1月18日	三好兵一拝(呉市長迫町)→吉嗣鼓山様	葉書
A-1-259	〔書簡〕	当地方の有力者5軒からの染筆追加依頼、絹5枚のお礼として金5円送付のこと	〔明治〕44.3.20	田中英三郎(愛知県中島郡今伊勢村)→吉嗣拝山閣下	一紙 (封筒)
A-1-260	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.29(消印)	名古屋東門前町郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-261	〔通信事務封筒〕	未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.29(消印)	三原郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-262	為替金渡済通知書	受取人坂田縫一郎、金10円	〔大正〕4.1.29(消印)	熊谷郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙

A-1-263	為替金渡済通知書 受取人田崎健一、金15円	[大正]4.1.31(消印)	佐世保常磐郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-264	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.27(消印)	天監国留萌郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-265	為替金渡済通知書 受取人久野助生、金15円	[大正]4.1.29(消印)	田丸郵便局(三重)→吉嗣鼓山殿	専用紙
A-1-266	為替金渡済通知書 受取人福田善吉、金5円	[大正]4.1.29(消印)	三島郵便局(愛媛)→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
A-1-267	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ、消印なし		岩国郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
A-1-268	郵便物受領証 伊藤悦太郎、鈴木了道、脇田秀石ほか6名金銭受取、計1円32銭	□.1.19(消印)	[太宰府郵便局](消印)	専用紙
A-1-269	郵便物受領証綴 岡本幸雄ら受取人74人、金銭計9円18銭	[大正]4.1.15(消印)	[太宰府郵便局](消印)	綴
A-1-270	御見舞並靈前供物控帳 拜山見舞者・葬儀参列者人名と見舞の品・供物の書上、371名分	大正4年1月7日以降		横帳
A-1-271	雇人名帳 白石弥平、古川利八、料理人渡辺菊次郎、帆足信太郎ほか7名書上	[大正4年カ]1月11日~16日		横帳
A-1-272	〔書簡〕 拜山先生御逝去に対するお悔み、預けていた絹及び20円返送を領収のこと	[大正4年]1月18日	かねい油本舗 一川傳四郎(名古屋)→吉嗣鼓山殿	一紙(封筒)
A-1-273-1	請品取帳 請品領収の書上	大正4年1月16日	吉嗣慶左右	横帳
A-1-273-2	請品取帳 請品領収の書上	大正4年1月11日	吉嗣慶左右	横帳
A-1-273-3	請品取帳 一号 請品領収の書上	大正4年1月11日	吉嗣慶左右	横帳
A-1-273-4	〔請品取帳 二号〕 表紙虫喰により破損	[大正4年]	吉嗣慶左右	横帳
A-1-273-5	請品取帳 三号 請品領収の書上	大正4年1月11日	吉嗣慶左右	横帳
A-1-274	悔帳 式号 お悔みにつき人名書上、脇百太郎、迫林、佐藤ほか133名	大正4年1月16日		横帳
A-1-275	〔覚書〕 大正4年1月11日拜山死去の通知のため印刷400部注文のこと、親族惣代2名、門人惣代3名、友人惣代3名書上	[大正4年1月11日]	[吉嗣鼓山]	横帳
A-1-276	会葬者尊名簿 会葬者6名の人名書上、石野信太郎、内藤常太郎、海老名浪吉、岡仁一郎、恒居一誠、磯野寅三			横帳
A-1-277	郵便物受領証 受取人鶴田七蔵ら50人計5円分の受領証	[大正]4.1.16(消印)	[太宰府郵便局]	綴
A-1-278	通常為替振出請求書 未使用			縦帳
A-1-279	郵便物受領証 受取人辻梅桂ら83人計10円8銭、満洲行1件30銭通計10円38銭分の受領証	[大正]4.1.21(消印)	[太宰府郵便局]	綴
A-1-280	代用乙号通常引受帳 桑田勝平ら42人、計4円20銭分	[大正]4.1.19(消印)	[太宰府郵便局]	綴
A-1-281	郵便物受領証 受取人奥村正人ら99人料金12円42銭、ほかに朝鮮1件16銭通計12円58銭分	[大正]4.1.21(消印)	[太宰府郵便局]	綴
A-1-282	郵便物受領証 受取人高田秀ら49人計4円90銭分	[大正]4.1.18(消印)	[太宰府郵便局]	綴
A-1-283	郵便物受領証 受取人小野冬治ら52人料金6円54銭分	[大正]4.1.22(消印)	[太宰府郵便局]	綴
A-1-284	潤筆料到来ノ標準表 潤筆料の定額の大略、絹本、同紙本の花草図、四君子図1枚5円以上、ほか10項目		古香書屋執事	縦帳
A-1-285	〔戸籍抄本〕 明治12年11月14日吉嗣梅極長男拜山(弘化3年6月4日生)相続	大正4年1月11日	福岡県筑紫郡太宰府町長 古川勝隆	専用紙
A-1-286	〔名簿〕 人名書上、拜山葬儀参列者名簿カ			横帳
A-1-287	〔電報綴〕 拜山死去につき弔電	大正6年11月7日、8日	内田鼎・柴田直道・中村玉郎・宮崎カメほか8名→ヨシツグコザン	綴
A-1-288	廿日祭到来品控 到来品名、数量、人名の書上	大正4年2月9日	古香書屋	横帳
A-1-289	三十祭諸入費仕払帳 計117円84銭、内金50円入、差引67円84銭受領仕払済	大正4年2月9日		横帳
A-1-290-1	太宰府通知 其他各地 人名書上、三条木本豊三郎、権木多七郎、田中卯五郎ほか162名	大正4年卯1月		横帳
A-1-290-2	太宰府附近知セ 人名書上、北谷、内山、松川、糟屋原田、同宇美、障子岳観世など14ヶ所分	[大正4年1月]		横帳
A-1-290-3	各市郡通知控 大坂、広島、豊前、豊後、長崎、台湾、京都、名古屋など各地住所・人名書上、台点あり	大正4年1月11日以降		横帳
A-1-291-1	焼香順 焼香順人名書上、慶左右、貞、慶左右母、長孫、進、ミトリ、秀子、八重子ほか20名	[大正4年1月]		縦帳

A-1-291-2	〔記〕本帳への記入漏れの名元を記す、「福岡筑紫郡岩橋衛生課長」尾形二日市郵便局長」とあり	〔大正4年1月〕		一紙
A-1-292	〔電報綴〕病気見舞電報及び弔電	〔大正〕4.1.8～同16 (消印)	鏡山権次郎・藤村箴・長崎一木ほか 70名→ヨシツグケイゾウ	綴
A-1-293-1	到来品仮控簿 巻号 名番一箱、線香、白絹地、菓子、綿旗、蠟燭、花輪ほか諸品人名書上、A-1-293-1、2は合綴	大正4年1月16日		横帳
A-1-293-2	到来品仮控帳 式号 帛旗料、玉串料、香典、菓子ほか諸品書上	大正4年1月16日		横帳
A-1-294	落成式加勢人名簿 古賀儀平ら42名の人名書上、ほかに雇人11名書上、計4円90銭追加、1名40銭	明治36年3月22日	頌徳會	横帳
A-1-295	礼廻人名簿 田中卯市ら208名、太宰府神社事務所、三条町、連歌屋町青年会など、合点あり	大正4年1月19日		横帳
A-1-296	〔漢詩〕「江天欲曙冷烟披認得行舟取次移西岸已明東岸暗一竿紅影射窓時」ほか15篇			小横帳
A-1-297-1	〔郵便物受領証綴〕引受番号354～394、受取人中島源三郎ら41名計5円46銭	〔大正〕4.1.18(消印)	〔太宰府郵便局〕	綴
A-1-297-2	〔郵便物受領証綴〕引受番号312～351、受取人今井直正ら計42人計5円34銭	〔大正〕4.1.17(消印)	〔太宰府郵便局〕	綴
A-1-297-3	〔郵便物受領証〕引受番号264～311、受取人那須嘉平ら48、6円	〔大正〕4.1.16(消印)	〔太宰府郵便局〕	綴
A-1-298	〔通常為替金受領證書綴〕「為替金渡済通知料納済」の印あり、1点綴外れ	〔大正〕4.1.15～20 (消印)	〔太宰府郵便局〕	綴
A-1-299	〔記〕上片久之、黒田清綱、大隈栄一ほか20名の人名書上			一紙 (横折)
A-1-300	悔帳 白石信太郎ら168名の人名書上	大正4年1月11日		横帳
A-1-301	〔電報綴〕2丁綴外れ、拝山死去につき弔電	〔大正〕4.1.11～同16 (消印)	大内義夫・大隈重信・土方久之・伊藤之帥・杉孫七郎ほか112名→ヨシツグケイゾウ(ケイゾウ)	綴
A-1-302-1	記 量の表3枚の代金として39銭受取の領収書	大正4年1月	沢原大八→吉嗣様	一紙
A-1-302-2	〔書簡〕明日の拝山葬儀に是非とも参拝したいのだが、隣家でも葬儀があるため欠席することを詫げる	〔大正4年〕1月18日 15日	白石常蔵→吉嗣鼓山様	継紙
A-1-302-3	請求書 セメント1斗の代金として80銭の請求書	大正4年2月4日	博多上奥堂町油勝商店 阿部常太郎 →上様	一紙
A-1-302-4	受取証 御礼状500枚の代金と商品輸送料として3円97銭の受取証、ほかに状袋400枚の代金として88銭受取のこと	大正4年1月19日	福岡市上川端町岸原實行堂→吉嗣殿	罫紙
A-1-302-5	領収証 会葬礼(特別)広告料として13円20銭の領収証	大正4年1月18日	九州日報社理事 吉田慶→吉嗣慶左右殿	一紙
A-1-302-6	領収書 普通30行5回、特別22行1回の広告料金として48円50銭の領収書	大正4年1月18日	博多毎日新聞社→吉嗣鼓山殿	一紙
A-1-302-7	領収証 死亡広告料として61円50銭の領収証	大正4年1月18日	九州日報社理事 吉田慶→吉嗣慶左右殿	一紙
A-1-302-8	記 上綿56斤の代金として20円24銭の請取を記す	1月23日	→上様	一紙
A-1-302-9	請求書 湯沸口鉄管付替代と汽車代日給として4円50銭の請求書	大正4年2月4日	福岡市北湊町波止場五十番地 木附梅吉	罫紙
A-1-302-10	領収証 死亡日、会葬礼広告料として71円30銭の領収証	大正4年1月18日	福岡日日新聞社合資会社広告部→吉嗣慶左右様	一紙
A-1-302-11	記 こんにゃく6丁、糸こんにゃく2升5分の代金として75銭受取の旨を記す	2月6日	田中栄太郎→吉嗣様	一紙
A-1-302-12	キ 酒9升の代金として4円32銭受取の旨を記す	1月30日	太宰府町和洋酒卸小売商吉崎長三郎商店→上様	一紙
A-1-302-13	記 車ふ1把の代金として7銭受取の旨を記す	大正3年1月19日	太宰府連歌屋町穀類乾物荒物商椎木龜吉商店→吉嗣様	一紙
A-1-302-14	記 30銭受取の旨を記す	1月17日	釜屋店→吉嗣様	一紙
A-1-302-15	キ 酒代として5円24銭受取の旨を記す	17日・18日	太宰府町和洋酒卸小売商吉崎長三郎商店	一紙
A-1-302-16	〔領収証綴〕 拝山葬儀に関する諸品代の領収証綴、64件分	〔大正4年1月〕		書綴
A-2	筆舌簿 拝山が中国に滞在していた際の書付、蓬來図ほか水墨画、漢詩等あり	明治11年戊寅4月18日	吉嗣拝山	横帳
A-3	筆以代舌圖以留迹 拝山が中国に滞在していた際の書付、山水、花などの水墨画、漢詩などあり	明治11年6月4日	吉嗣拝山	横帳

A-4	筆以換舌字以換言 拜山が中国に滞在していた際の書付、蘇州の山水、建築物(寺院など)の水墨画、漢詩等あり	明治11年5月	吉嗣拜山	横帳
A-5	以筆換談 拜山が中国に滞在していた際の書付、動植物の絵(一部彩色あり)や山水画、漢詩等あり		拜山	横帳
B-1	葬儀仕佛帳 廣瀬玄帳金1円11銭ほか73ヶ所、計521円13銭、他に現金払金40円62銭、合わせて金561円75銭	大正4年1月17日	古香書屋	横帳
B-2	〔経典〕 前後欠、藍色地に金字			一紙
B-3	福岡日日新聞 3、4、7、8面分1枚、選挙大干渉の回顧等の記事	大正4年2月17日		一紙
B-4	電報頼信紙 未使用			専用紙
B-5	記 塩瀬帛紗50枚、モス風呂敷650枚代金299円25銭の請求書	大正4年1月21日	京都市西洞院通四條南入梅村半右衛門商店→宮本様	罫紙
B-6	〔葉書〕 為替金110円領収のこと	〔大正4年〕(消印)1月17日	尾道市十四日町 井上吉兵衛→吉嗣鼓山殿	葉書
B-7	為替金渡済通知書 受取人服田静夫代人岩田源之助、金15円	〔大正〕4.1.27(消印)	愛知布袋郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-8	〔札綴〕 熊本県小澤町宛郵便物、宛先不明による持戻り	〔大正〕4.1.21(消印)	熊本郵便局→太宰府局	綴
B-9	為替金渡済通知書 受取人徳田元作、金20円	〔大正〕4.1.30(消印)	岡山和気郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-10	〔函面〕 右上に「尺度十分一」とあり			一紙
B-11	記 中五徳1個代12銭領収	大正3年12月30日	福岡市下土居町 馬頭市太郎→上様	専用紙
B-12-1	郵便物受領証 小包の受取人は尾崎邦蔵、郵便料12銭	〔大正〕4.2.7(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣〕	専用紙
B-12-2	郵便物受領証 受取人尾崎邦蔵、郵便料10銭	〔大正〕4.2.7(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣〕	専用紙
B-13	〔葉書〕 小倉鉄道株式会社小倉支部主事松本良七・小倉市小林徳一郎両名の人名を早速通知されたい	〔大正〕4.1.12(消印)	若松市 竹尾浄吉→吉嗣方宅藤瀬冠郎様外御中	葉書
B-14	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.25(消印)	安藝國瀬戸田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-15	記 小晒吉反50銭、カアゼ18銭、計68銭領収	吉月7日	稲筒屋店→吉嗣様	一紙
B-16	為替金渡済通知書 受取人三隅寿介、金5円	〔大正〕4.1.27(消印)	山口県厚南郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-17	〔名刺〕 合資会社三中西商店(京都市六角通東洞院東入)の名刺			一紙
B-18	記 拜山に依頼の画帖1冊受取のこと	大正4年3月□日	千艸安兵衛→吉田鹿道様	綴紙
B-19	為替金渡済通知書 受取人村上敬一、金40円	〔大正〕4.1.20(消印)	一宮郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-20	〔封筒〕 表に「鼓山先生 薄志 江藤」とあり			封筒
B-21	電報送達紙 拜山への弔電	〔大正〕4.1.15(消印)	神崎(豊前松江)→ヨシツグコザン	専用紙
B-22	通常為替金受領証書 払渡局は佐世保常盤、金15円	〔大正〕4.1.30(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣鼓山〕	専用紙
B-23	為替金渡済通知書 受取人石黒佐七、金10円	〔大正〕4.2.2(消印)	名古屋伝馬町郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-24	為替金渡済通知書 受取人小西兵馬、金3円	〔大正〕4.1.23(消印)	岡山県田浦郵便局長 三杉定吉→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
B-25	為替金渡済通知書 受取人那須嘉十、金5円	〔大正〕4.1.20(消印)	備前国牛窓郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-26	為替金渡済通知書 受取人來住藤吉、金3円	〔大正〕4.1.20(消印)	西脇郵便局長 來住泰二郎→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
B-27	〔葉書〕 拜山先生ご逝去に対する哀悼の意、御返戻の絵絹領収のこと	大正4年1月22日	久留米輜重兵隊 讚井牛吉→吉嗣鼓山様	葉書
B-28	〔葉書〕 御返金30円及び絹3葉入手のこと	〔大正4年〕(消印)1月17日	小間物問屋 岡田仙次郎(尾道市西久保町)→吉嗣鼓山先生	葉書
B-29	郵便物受領証 受取人浦島理八郎ら19人、計1円90銭分	〔大正〕4.1.22(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣鼓山〕	綴
B-30	為替金渡済通知書 受取人片山新太郎、金20円	〔大正〕4.2.1(消印)	愛媛県津倉郵便局長 藤本真逸→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-31	〔漢詩稿〕 「耶馬溪」ほか7篇			一紙
B-32	〔題箋〕 「拜山右手時代筆 廿二歳之作」			一紙
B-33	〔葉書〕 絹本白紙受領のこと	〔大正4年〕(消印)1月22日	嶋田永芳(佐賀県神埼郡城田村)→吉嗣鼓山様	葉書
B-34	為替金渡済通知書 受取人松尾千代松、金20円	〔大正〕4.1.21(消印)	和歌山県新宮郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙

B-35	〔為替金渡済通知書〕 未開封	〔大正〕4.1.30(消印)	神崎郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-36	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.20(消印)	鳥根県高津郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-37	〔書簡〕 拝山先生ご逝去に対するお悔み、以前依頼していた揮毫料20円返送の催促	大正4年1月21日	増田寅之助(長野市岩石町)→吉嗣 拝山先生御遺族様御中	継紙 (封筒)
B-38	〔葉書〕 依頼の山水は絹本の寸法は5尺、景色牛瀧の大きなもの好みである由	〔明治38年〕(消印)6月7日	[](府中町)→有元義兵衛様(備後尾道市十四日町)	葉書
B-39	郵便物受領証 小包受取人田崎健一	〔大正〕4.1.30(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣鼓山〕	専用紙
B-40	〔書簡草案〕 拝山30日祭は来月9日実施決定のこと、供物への返礼として風呂敷帛紗分配につき注文のため京都に使いのこと	〔大正4年正月〕		一紙 (横折)
B-41	〔表紙〕 「大正四年一月十六日野辺帳一号」とあり			一紙 (横折)
B-42	般若波羅密多心經			一紙
B-43	為替金渡済通知書 受取人長手権七、金100円	〔大正〕4.1.22(消印)	淡路国都志郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-44	為替金渡済通知書 未開封	〔大正〕4.1.27(消印)	下関郵便局長→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-45	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.19(消印)	愛知県津嶋郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-46	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	〔大正〕4.1.27(消印)	尾張国古知野郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-47	〔葉書〕 拝山の眼病を新聞上で拝見し真言秘密占法で鑑定すると女の生霊のたたり由	〔大正〕4.1.19(消印)	千里眼生→吉嗣拝山先生	葉書
B-48	為替金渡済通知書 未開封、受取人猪熊兼吉	〔大正〕4.1.23(消印)	讃岐高屋郵便局→吉嗣鼓山先生	専用紙
B-49	〔葉書〕 拝山先生ご逝去に対するお悔み	〔大正4年〕(消印)1月11日	荒石崎軍太郎(筑紫郡二日市町湯町)→吉嗣敬蔵様	葉書
B-50	通常為替金受領証書 払渡局愛知県古知野、金30円	〔大正〕4.1.24(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣鼓山〕	専用紙
B-51	〔葉書〕 拝山先生ご逝去に対するお悔み、返送の絹地写真を落手したこと	〔大正〕4.1.28(消印)	湯口源太(松山市出淵町一丁目)→吉嗣孤山様	葉書
B-52	〔書簡〕 拝山先生死去に対するお悔み、大正3年に依頼した作品の返却願	〔大正〕4.1.16(消印)	→吉嗣拝山先生御遺族御中	罫紙 (封筒)
B-53	受領票 加入者株式会社福岡貯蓄銀行、金5円、払込人吉嗣鼓山殿	〔大正〕4.2.6(消印)	〔太宰府郵便局〕	専用紙
B-54	假記 煉瓦30本、人造石1升5合、油煙50匁計52銭5り領収	大正3年12月28日	菓種金物御小売文戸田秀商店(福岡県二日市町)→御上様	専用紙
B-55	宝物陳列並書画展覧会趣旨 福岡市で開催の九州沖縄八県連合共進会で展覧するため画幅の提供を願う	明治43年3月	発起者小野隆助・松大路信充・吉嗣 拝山・宣嶋秀山・藤瀬冠郎	一紙
B-56	通常為替金受領証書 払渡局は三重県桑名ほか14ヶ所	〔大正〕4.1.25~27(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣鼓山〕	綴
B-57	〔封筒〕 「金五拾円也青緑山水 田中千代松」とあり			封筒
B-58	通常為替金受領証書 払渡局和歌山県東長町、金4円	〔大正〕4.1.24(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣鼓山〕	専用紙
B-59	為替金渡済通知書 受取人村瀬善三郎、金20円	〔大正〕4.1.18(消印)	布袋郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-60-0	〔封筒〕		→吉嗣鼓山殿	封筒
B-60-1	為替金渡済通知書 受取人肥田俊平、金30円	〔大正〕4.1.19(消印)	中津郵便局長市岡年彌(岐阜県)→〔吉嗣鼓山〕	専用紙
B-60-2	為替金渡済通知書 受取人村上隆一、金31円	〔大正〕4.1.19(消印)	愛知県七宝郵便局長 鈴木甚五郎→〔吉嗣鼓山〕	専用紙
B-60-3	為替金渡済通知書 受取人青山寿一、金6円	〔大正〕4.1.20(消印)	登立郵便局長→〔吉嗣鼓山〕	専用紙
B-61	〔名刺〕 「冬城研介 三井銀行福岡支店」とあり			名刺
B-62	〔通常為替金受領証書綴〕 払渡局は19ヶ所	〔大正〕4.1.22(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣鼓山〕	綴
B-63	〔葉書〕 拝山先生ご逝去に対するお悔み、御返送の白扇3本と金2円落手のこと	〔大正〕4.2.1(消印)	満井貫一(長崎県島原町)→吉嗣鼓山殿	葉書
B-64	〔名刺〕 表に「染呉服御問屋西羽善次郎商店長電話中1280番京都市蛸薬師室町西」、裏に「賀子町八二宮本直政」とあり			名刺
B-65	〔記〕 人名書上、嘉穂郡二瀬村中野徳次郎、直方石橋周次郎、田川郡川崎坪根新次ほか47名、「不用五円以上分」とあり			竖帳
B-66	〔書簡〕 金100円返戻落手のこと、鼓山に地質御潤筆依頼した件につき御意聞かせられたい	〔大正4年〕(消印)1月21日	長手権七(淡路国都志村)→吉嗣鼓山先生殿	一紙 (封筒)
B-67	郵便物受領証 受取人金森繁喜、小包郵便料18銭	〔大正〕4.2.12(消印)	〔太宰府郵便局〕→〔吉嗣鼓山〕	専用紙

B-68	郵便物受領証 受取人巢山義雄ら11名、料金1円50銭	[大正]4.1.22(消印)	[太宰府郵便局]→[吉嗣鼓山]	綴
B-69	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.20(消印)	日田郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-70	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.18(消印)	備後国津之郷局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-71	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.2.1(消印)	西尾郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-72	〔書簡〕 年賀の挨拶、粗品御笑納のこと、一束は船越様へ差出下されたきこと	大正	絹綿染糸卸商田中商店(愛知県中島郡宮町通り今伊勢村)→吉嗣拝山様	罫紙(封筒)
B-73	為替金渡済通知書 受取人吉田栄次郎、金21円	[大正]4年1月26日(消印)	今尾郵便局(岐阜)→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-74	〔記〕 作品発送にかかる覚書、「出来到着期日二月三日迄」とあり			罫紙
B-75	宿枕流軒次春塘韻 漢詩原稿、朱書訂正あり			罫紙
B-76	郵便物受領証 2枚綴、小包の受領証、受取人安垣利三郎(浮羽郡吉井町)・麻生理一郎(大分県宇佐郡麻生村)	[明治]41年12月21日(消印)	[太宰府郵便局]→吉嗣拝山	専用紙
B-77	為替金渡済通知書 受取人毛利友次郎、金10円	[大正]4.1.2(消印)	富山四十物町郵便局→吉嗣拝山殿	専用紙
B-78	小為替金受領証書 金10円	[大正]4.2.12(消印)	[太宰府郵便局]	専用紙
B-79	成富椿屋翁墓誌銘 跋記として「干時明治四十一年八月下浣 永田暉明謹撰」とあり			縦帳
B-80	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.18(消印)	名古屋郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-81	〔記〕 「十九日夕手紙札状差出分」とあり、石坂木村寅吉他2人の名を記載			罫紙
B-82	為替金渡済通知書 受取人藤井重太郎、金10円	[大正]4.1.25(消印)	高松東浜郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-83	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.20(消印)	岡山県総社郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-84	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.22(消印)	愛媛県惣開郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-85	郵便物受領証 受取人田崎健一、通常郵便料10銭	[大正]4.1.30(消印)	[太宰府郵便局]	専用紙
B-86	〔名刺〕 染呉服卸問屋西羽善次郎商店(京都市蛸薬師室町西)			一紙
B-87	〔書信〕 太宰府町字池田里道にかかる大石の取寄の件での役場への出頭要請	明治30年12月13日	太宰府町長 斎藤寿七→吉嗣拝山殿	罫紙(封筒)
B-88	〔葉書〕 老先生逝去に対するお悔み、潤筆料返送につき落手のこと	大正4.1.19	大村蒲太郎(三河国)→吉嗣鼓山殿	葉書
B-89	郵便物受領証 受取人権藤八洲生、小包(フクサ1枚30銭)	大正4.2.11	[太宰府郵便局]	専用紙
B-90	為替金渡済通知書 受取人原口莞高、金12円	[大正]4.1.21	長崎長浦郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-91	記 日2束、奉書93枚、水引5本、広紙4枚、米1コ1枚、計金3円42銭9厘領収のこと	2月16日	米田屋→吉嗣様	一紙
B-92	〔葉書〕 送付の金45円落掌のこと	[大正4年](消印)2月9日	鈴木久次郎(高松市)→吉嗣鼓山先生様	葉書
B-93	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.20(消印)	備後国府中郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-94	為替金渡済通知書 受取人中原順吉、金40円	[大正]4.1.18(消印)	岐阜今尾郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-95	為替金渡済通知書 受取人村辻通、金4円	[大正]4.1.26(消印)	和歌山東長町郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-96	〔電報〕 拝山への弔電	[大正]4.1.16(消印)	中村和三郎(三藩郡鐘江)→ヨシツゲコザン	専用紙
B-97	為替金渡済通知書 受取人藤谷次郎右衛門、金16円	[大正]4.1.23(消印)	後志余市局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-98	記 さけひも7ツ代42銭領収、印あり	大正3年2月16日	穀類乾物荒物商椎木亀吉商店(太宰府連歌屋町)→上様	専用紙
B-99	郵便物受領証 2枚綴、受取人森鉄五郎・丹羽忠兵衛	[大正]4. 1. 23(消印)	[太宰府郵便局]	専用紙
B-100	〔葉書〕 拝山逝去に対するお悔み	[大正]4.1(消印)11日	広津知雄(湯町)→吉嗣鼓山先生貴下	葉書
B-101	〔漢詩〕 七言絶句、初句「諸城朝雨漏輕塵」		紫水堂	一紙
B-102	電報頼信紙 表に「東京市」とあり、裏に「河村剛四郎」とあり			専用紙
B-103	為替金渡済通知書 受取人小早川庄七、金25円	[大正]4.1.17(消印)	愛知県一宮郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙(封筒)
B-104	電報頼信紙 裏に「日出町」とあり、電文なし			専用紙
B-105	〔葉書〕 父拝山死亡通知、封筒表の宛名は田村長太郎殿、所在不明による持戻りの付札あり	[大正4](消印)1月11日	吉嗣鼓山→田村新八殿・同ユキ工殿(浮羽郡浮羽村)	葉書(封筒)

B-106-0	〔紐〕 B-106-1～B-106-9までを一括していた紐				紐
B-106-1	〔記〕 住所・人名の書上、「福岡市地行五番丁 河村武友」ほか2名	〔近代〕			一紙
B-106-2	〔記〕 住所・人名の書上、「門司市清瀧町 武内丈助」ほか24名、抹消線あり	〔近代〕			罫紙
B-106-3	〔記〕 住所・人名の書上、「岡山市桜馬場 関新吾」ほか8名	〔近代〕			一紙
B-106-4	〔記〕 封筒の背面部分のみ、「直方町貯蓄銀行支店 井上信秀殿」とあり	〔近代〕			一紙
B-106-5	〔記〕 住所・人名の書上、「嘉穂郡桂川村大字内山田 松田宗十郎」ほか、横帳に仕立てる前段階の断簡カ、綴じ跡なし	〔近代〕			一紙 (横折)
B-106-6	〔記〕 住所・人名の書上、「鞍手郡宮田村太浦礦業所 横倉英次郎」ほか6名、横帳に仕立てる前段階の断簡カ、綴じ跡なし	〔近代〕			一紙 (横折)
B-106-7	〔記〕 住所・人名の書上、「一月十一日為知」とあり、「福岡地行五番丁 河村武友」ほか15名、人名の上に丸印あり	〔近代〕			横帳
B-106-8	〔記〕 住所・人名の書上、「唐津町 草場猪之吉」ほか9名	〔近代〕			一紙
B-106-9	〔記〕 住所・人名の書上、「門司市旧門司 田中篤雄」ほか、人名の上に丸印あり	〔近代〕			縦帳
B-107	通常為替振出請求書 未使用分、欄外に活字で「大正三、六小倉池田納」とあり				縦帳
B-108	通常為替金受領証書 金17円54銭	〔大正〕4.2.12(消印)	京都郵便局		専用紙
B-109	為替金渡済通知書 受取人橋本正十郎、金10円	〔大正〕4.2.10(消印)	箱崎郵便局→吉嗣鼓山殿		専用紙
B-110	大雅堂 洞庭赤壁画讚巻 綴じ穴あり、写真版				一紙
B-111	宝物陳列並書画展覧会趣旨 同種6枚、B-55と同じ	明治43年2月	発起者小野隆助・松大路信充・吉嗣 拝山・萱嶋秀山・藤瀬冠郎		一紙
B-112	五万分一地形図小倉 「甘木」「背振山」「太宰府」(同種2枚)、「福岡」の4種5枚、巻込一括	昭和5年1月30日～ 同7年8月30日	大日本帝国陸地測量部		一鋪
B-113-1	郵便物受領証 受取人島村金治、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月1日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-2	郵便物受領証 受取人和田長太郎、小包郵便料12銭	〔大正〕3年8月30日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-3	郵便物受領証 受取人梶口徳次郎、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-4	郵便物受領証 受取人佐藤右馬太郎、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月18日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-5	郵便物受領証 受取人今富林平、小包郵便料12銭	〔大正〕4年2月20日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-6	郵便物受領証 受取人森鑑兵衛、小包郵便料42銭	〔大正〕3年8月23日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-7	郵便物受領証 受取人長谷川鉄之丞、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月14日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-8	郵便物受領証 受取人御納屋仁右衛門、小包郵便料24銭	〔大正〕3年9月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-9	郵便物受領証 受取人磯田瀧太郎、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-10	郵便物受領証 受取人大園瑞圓、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-11	郵便物受領証 受取人洪水栄三郎、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月28日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-12	郵便物受領証 受取人多田襟山、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-13	郵便物受領証 受取人川合孝次、小包郵便料12銭	〔大正〕3年9月28日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-14	郵便物受領証 受取人諸岡逸治郎、小包郵便料18銭	〔大正〕3年10月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-15	郵便物受領証 受取人吉嗣達太郎、小包郵便料12銭	〔大正〕3年12月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙
B-113-16	郵便物受領証 受取人寒水ミツ、小包郵便料18銭	〔大正〕3年12月29日 (消印)	太宰府郵便局(消印)		専用紙

B-113-17	郵便物受領証	受取人清水静平、通常郵便料10銭	[大正]3年11月4日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-18	郵便物受領証	受取人土谷支仙、小包郵便料12銭	[大正]3年11月3日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-19	郵便物受領証	受取人湯浅喜八郎、小包郵便料12銭	[大正]3年12月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-20	郵便物受領証	受取人寒水正人、小包郵便料12銭	[大正]3年12月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-21	郵便物受領証 忠吉	2通分切離未済、受取人原山宗弘・西	[大正]3年12月17日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-22	郵便物受領証	受取人岡鶴平、小包郵便料12銭	[大正]3年12月23日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-23	郵便物受領証	受取人森本義兵衛、小包郵便料12銭	[大正]3年11月23日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-24	郵便物受領証	受取人谷惣太郎、小包郵便料12銭	[大正]3年11月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-25	郵便物受領証	受取人横山兵造、小包郵便料12銭	[大正]3年11月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-26	郵便物受領証	受取人平野弥三郎、小包郵便料24銭	[大正]3年12月14日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-27	郵便物受領証	受取人永富三質、小包郵便料30銭	[大正]3年12月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-28	郵便物受領証	受取人木村森八、通常郵便料10銭	[大正]3年11月19日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-29	郵便物受領証	受取人井川儀三郎、小包郵便料12銭	[大正]3年12月30日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-30	郵便物受領証	受取人西田勝次、小包郵便料24銭	[大正]4年1月19日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-31	郵便物受領証	受取人高橋彦次郎、小包郵便料12銭	[大正]3年11月28日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-32	郵便物受領証	受取人坪根新次、小包郵便料12銭	[大正]3年12月30日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-33	郵便物受領証	受取人堤竹太郎、小包郵便料12銭	[大正]4年2月8日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-34	郵便物受領証	受取人武田賢齊、小包郵便料36銭	[大正]4年2月13日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-35	郵便物受領証	受取人未直佐、小包郵便料12銭	[大正]4年2月7日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-36	郵便物受領証	受取人由良義介、小包郵便料12銭	[大正]4年2月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-37	郵便物受領証	受取人未直佐、小包郵便料12銭	[大正]4年2月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-38	郵便物受領証	受取人伊原清次郎、小包郵便料12銭	[大正]3年12月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-39	郵便物受領証	受取人国方巖、小包郵便料12銭	[大正]3年12月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-40	郵便物受領証	受取人占部太平、小包郵便料12銭	[大正]4年1月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-41	郵便物受領証	受取人中村勝三郎、小包郵便料12銭	[大正]4年1月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-42	郵便物受領証	受取人亀屋萬生堂、小包郵便料12銭	[大正]4年1月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-43	郵便物受領証	受取人伊藤八百叟、小包郵便料12銭	[大正]4年2月13日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-44	郵便物受領証	受取人川谷、小包郵便料12銭	[大正]3年11月9日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-45	郵便物受領証	受取人吉田弘義、小包郵便料12銭	[大正]3年8月23日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-46	郵便物受領証	受取人鶴原延年、通常郵便料10銭	[大正]4年2月20日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-47	郵便物受領証	受取人江草年一、小包郵便料36銭	[大正]4年2月16日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-48	郵便物受領証	受取人打萩英一、小包郵便料12銭	[大正]3年10月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙

B-113-49	郵便物受領証	受取人吉嗣拝山、小包郵便料24銭	[大正]3年10月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-50	郵便物受領証	受取人堤竹太郎、小包郵便料12銭	[大正]3年10月6日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-51	郵便物受領証	受取人角内ふせ、通常郵便料10銭	[大正]4年2月18日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-52	郵便物受領証	受取人加藤彦介、小包郵便料36銭	[大正]4年2月16日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-53	郵便物受領証	受取人原秋村、小包郵便料12銭	[大正]3年10月30日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-54	郵便物受領証	受取人加藤駒三郎、小包郵便料24銭	[大正]3年12月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-55	郵便物受領証	2通分切離未済、受取人山田森三郎・石黒周太郎	[大正]4年4月1日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-56	郵便物受領証	受取人加藤彦介、小包郵便料12銭	[大正]3年10月8日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-57	郵便物受領証	受取人富永惣三郎、小包郵便料12銭	[大正]3年9月7日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-58	郵便物受領証	受取人天本梅可、小包郵便料12銭	[大正]3年12月11日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-59	郵便物受領証	受取人菅野義雄、小包郵便料12銭	[大正]3年11月15日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-60	郵便物受領証	受取人堤竹太郎、小包郵便料12銭	[大正]3年10月2日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-61	郵便物受領証	受取人内田昇、小包郵便料24銭	[大正]3年10月4日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-62	郵便物受領証	受取人田中謙介、小包郵便料12銭	[大正]3年10月4日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-63	郵便物受領証	受取人曾我祐夫、小包郵便料18銭	[大正]3年8月29日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-64	郵便物受領証	受取人坪根新治、小包郵便料12銭	[大正]3年8月28日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-65	郵便物受領証	受取人和田長太郎、通常郵便料10銭	[大正]3年8月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-66	郵便物受領証	受取人仁田原重行、小包郵便料12銭	[大正]3年12月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-67	郵便物受領証	受取人今枝久兵衛、小包郵便料24銭	[大正]3年8月30日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-68	郵便物受領証	受取人西川六左衛門、通常郵便料10銭	[大正]3年12月16日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-69	郵便物受領証	受取人柗新藏、小包郵便料24銭	[大正]3年12月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-70	郵便物受領証	受取人熊本吉祥、小包郵便料12銭	[大正]3年11月13日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-71	郵便物受領証	受取人藤江字、小包郵便料12銭	[大正]3年8月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-72	郵便物受領証	受取人河邊青蘭、小包郵便料12銭	[大正]3年11月12日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-73	郵便物受領証	受取人有元義兵衛、小包郵便料12銭	[大正]3年10月6日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-74	郵便物受領証	3通分切離未済、受取人城戸嶮・久保田興市・長野嘉平	[大正]3年12月4日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-75	郵便物受領証	受取人久保田興市、通常郵便料10銭	[大正]3年12月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-76	郵便物受領証	受取人阿部兼太郎、小包郵便料12銭	[大正]4年2月13日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-77	郵便物受領証	払渡局山口県崇義、5円	[大正]4年2月20日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-78	キ「つくり」「白かみ」「まきがみ」代など計68銭代金受取証		1月26日	吉村→上様	一紙
B-113-79	証	大正2年度初穂料として6銭神納のこと	大正3年	大社教福岡分院長 廣瀬玄銀	一紙
B-113-80	〔領収証〕	大正3年1月分新聞紙代金として50銭領収のこと	大正4年1月	九州日報京坂諸新聞并ニ広告取次 二日市町 早田金七→吉次先生様	一紙

B-113-81	領収証 新聞代及び配達料として50銭領収のこと	大正4年2月5日	福岡日日新聞合資会社販売部二日市出張所→吉嗣殿	一紙
B-113-82	〔領収証〕 大正3年9月分新聞代として50銭領収のこと	大正3年10月	九州日報京坂諸新聞并ニ広告取次二日市町 早田金七→吉次拜山様	一紙
B-113-83	郵便物受領証 受取人大田新次郎ほか5名	〔大正〕3年11月7日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-84	郵便物受領証 差出人吉嗣拜山、受取人野村吉太郎ほか6名、ノ7箇1円8銭	〔大正〕3年11月29日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-85	郵便物受領証 受取人村上一笑ほか3名	〔大正〕3年10月9日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-86	郵便物受領証 受取人御納屋仁右衛門ほか2名	〔大正〕3年9月6日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-87	郵便物受領証 受取人井持権平ほか4名	〔大正〕3年9月30日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-88	領収証 世界大戦乱誌前編1部代として2円10銭領収のこと	大正4年1月28日	帝国軍事通信社(東京市赤坂区檜町三番地)→吉嗣拜山殿	一紙
B-113-89	郵便物受領証 受取人松岡庫太郎ほか3名	〔大正〕3年10月8日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-90	郵便物受領証 差出人吉嗣鼓山、受取人鶴原延年ほか5名、計6箇78銭	〔大正〕4年2月19日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-91	郵便物受領証 差出人吉嗣拜山、受取人石原富吉ほか5名、ノ6箇96銭	〔大正〕3年12月3日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-92	郵便物受領証 2通分切離未済、受取人光吉元次郎・西村常吉	〔大正〕3年8月26日	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-93	郵便物受領証 受取人相淵直助ほか4名	〔大正〕3年8月26日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-94	郵便物受領証 受取人波多欣二郎ほか3名	〔大正〕3年11月11日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-95	郵便物受領証 受取人中川平一郎ほか3名	〔大正〕3年11月2日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-96	郵便物受領証 受取人加藤一太郎ほか3名	〔大正〕3年10月13日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-97	郵便物受領証 受取人武内美代吉ほか3名、計4箇74銭	〔大正〕3年12月8日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-98	郵便物受領証 受取人中野春松ほか2名、ノ54銭	〔大正〕3年12月16日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-99	郵便物受領証 差出人吉嗣拜山、受取人大園瑞円ほか4名	〔大正〕3年12月27日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-100	郵便物受領証 受取人馬瀬考太郎ほか3名	〔大正〕3年10月5日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-101	郵便物受領証 受取人大園瑞圓ほか3名	〔大正〕3年12月16日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-102	郵便物受領証 受取人菅野さわ子ほか2名	〔大正〕3年11月19日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-103	郵便物受領証 受取人肥田俊平ほか2名	〔大正〕3年11月21日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-104	郵便物受領証 受取人榊原秀次郎ほか1名	〔大正〕3年12月13日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-105	郵便物受領証 受取人吉嗣達二郎ほか2名	〔大正〕3年11月17日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-113-106	郵便物受領証 受取人熊本吉祥、小包郵便料18銭	〔大正〕3年9月11日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-1	郵便物受領証 受取人近藤佐五郎、小包郵便料30銭	〔大正〕4年2月11日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-2	郵便物受領証 受取人平原繁一、小包郵便料30銭	〔大正〕4年2月11日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-3	郵便物受領証 受取人越山富貴、通常郵便料10銭	〔大正〕4年2月12日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-4	郵便物受領証 受取人梅村半右衛門、通常郵便料10銭	〔大正〕4年2月12日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-5	郵便物受領証 受取人梅村半右衛門、通常郵便料10銭	〔大正〕4年2月11日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙

B-114-6	記 品代として1円48銭の領収証	大正4年1月18日	乾物青物雜詰商八百岩商店(博多東中洲町電車停留所前)→上様	一紙	
B-114-7	郵便物受領証 物受領証綴	受取人光應智覧ほか18名分の郵便	[大正]4年1月20日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	綴
B-114-8	郵便物受領証	受取人渡辺喜兵衛、小包郵便料12銭	[大正]4年2月6日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-9	郵便物受領証	受取人宇野要七、小包郵便料12銭	[大正]4年2月6日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-10	郵便物受領証	受取人清水石仙、小包郵便料12銭	[大正]4年2月6日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-11	郵便物受領証	受取人原田寛平、小包郵便料12銭	[大正]4年2月2日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-12	郵便物受領証	受取人中江巽、小包郵便料12銭	[大正]4年2月2日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-13	郵便物受領証	受取人村瀬善三郎、通常郵便料10銭	[大正]4年2月2日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-14	郵便物受領証	受取人原田寛平、通常郵便料10銭	[大正]4年2月2日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-15	郵便物受領証	受取人中江巽、通常郵便料10銭	[大正]4年2月2日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-16	郵便物受領証 銭	受取人佐藤右馬太郎、通常郵便料10	[大正]4年2月4日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-17	郵便物受領証	受取人帝国寿美社、小包郵便料18銭	[大正]4年1月26日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-18	郵便物受領証	受取人帝国寿美社、小包郵便料18銭	[大正]4年1月26日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-19	郵便物受領証	受取人金行二郎、通常郵便料10銭	[大正]4年1月26日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-20	郵便物受領証	受取人田中英三郎、小包郵便料12銭	[大正]4年1月26日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-21	郵便物受領証	受取人近藤佐五郎、小包郵便料12銭	[大正]4年1月26日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-22	郵便物受領証	差出人吉嗣鼓山、受取人内藤為七ほか3名、 $\text{メ}4\text{ヶ}54$ 銭	[大正]4年1月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-23	郵便物受領証	受取人森勘市、通常郵便料10銭	[大正]4年1月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-24	郵便物受領証	受取人田中千代松、通常郵便料10銭	[大正]4年□月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-25	郵便物受領証	受取人中上善之進、通常郵便料10銭	[大正]4年1月25日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-26	郵便物受領証	受取人久野席生、通常郵便料10銭	[大正]4年1月26日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-27	通常為替金受領証書	払渡局所名愛知県半田、30円50銭	[大正]3年12月16日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-28	通常為替金受領証書	払渡局門司県日出町、23円20銭	[大正]3年11月19日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-29	受領票	払込人吉嗣ミドリ、加入者大倉書店大倉保五郎、1円76銭	[大正]3年11月19日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-30	郵便物受領証	受取人小林条使、小包郵便料30銭	[大正]4年1月23日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-31	郵便物受領証	受取人田中千代松、小包郵便料24銭	[大正]4年1月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-32	郵便物受領証	受取人中上善之進、小包郵便料24銭	[大正]4年1月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-114-33	郵便物受領証	受取人進藤瑞堂、小包郵便料12銭	[大正]4年1月24日 (消印)	太宰府郵便局(消印)	専用紙
B-115	宝物陳列並書画展覽会趣旨	B-55、B-111と同じ	明治43年2月	発起者小野隆助・松大路信充・吉嗣拝山・萱嶋秀山・藤背冠郎	一紙
B-116	[掛軸]	未使用			軸
B-117	[郵便物受領証綴]	計75件、7円50銭分	[大正]4.1.15(消印)	[太宰府郵便局]	綴
B-118	[掛軸]	未使用			軸
B-119	敬齋箴	奥に「具原篤信」(白文方印)ほか計2種の印章あり、漢詩文、裏打2枚あり			一紙

B-120	〔漢詩〕 2首、印章2つ(白文方印)あり		牧静修	一紙
B-121	為替金渡済通知書 金40円、受取人浦島野八郎	[大正]4.1.26(消印)	富山県水見郵便局→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-122	郵便物受領証 受取人越山富貴、小包送付	[大正]4.2.12(消印)	[太宰府郵便局]	専用紙
B-123	〔書簡〕 潤筆追加依頼代金10円、ほかに2円統本代、計12円送付のこと	明治43年11月29日	僊田半畊(愛知県丹羽郡大口村大字河北)→吉嗣拜山先生閣下	継紙
B-124	〔葉書〕 拜山の見舞状	[大正]4.1.12(消印)	永岡之服(大隈町)→太宰府吉嗣拜山方藤瀬冠郎様	葉書
B-125	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.2.5(消印)	鹿児島草牟田→吉嗣鼓山殿	封筒
B-126	郵便物受領証 受取人鈴木平次郎	[大正]4.2.7(消印)	[太宰府郵便局]	専用紙
B-127	〔書簡〕 中身欠、書留、B-130が中身カ	明治43年12月5日(裏書)	仙田半畊(愛知県)→吉嗣拜山先生侍史下	封筒
B-128	〔通信事務封筒〕 未開封、為替金渡済通知書内封カ	[大正]4.1.23(消印)	大阪高麗橋郵便局→吉嗣鼓山殿	封筒
B-129	郵便物受領証 受取人近江屋呉服店、小包30銭	[大正]4.1.23(消印)	[太宰府郵便局]	専用紙
B-130	〔書簡〕 12枚紙本追加依頼承諾されたき件につき御内意の伺い、代金150円	12月4日	仙田半畊→吉嗣拜山先生侍史下	一紙
B-131	記 上キスキ白保1メ、大形都紙1メ、代金計2円40銭内残り40銭受取	12月29日	若松や店→吉嗣先生様	一紙
B-132	〔手帳〕 展覧録、出品録、受取・販売の金銭と数量の覚え、日本勧業銀行(横浜文寿堂製)の手帳	1928年	吉嗣	縦帳
B-133	領収証 拾燭光式■点火料及取付料として金1円16銭領収	大正4年1月22日	[九州水力電気株式会社福岡出張所]電灯部→吉嗣拜山殿	罫紙
B-134	電報送達紙 「ユイゴンアルイサイアスキテハナス」とあり	[大正]4.1.11(消印)	→タサイフヨシツグコザンカタミモトエンタロ	専用紙
B-135	〔名刺〕 岩崎天外の名刺、墨書			一紙
B-136	〔葉書〕 葬儀の通知、宛先不明にて名古屋郵便局より返送	大正4年1月12日(消印)	吉嗣鼓山→梅村吉次郎殿	封筒
B-137	〔漢詩〕			罫紙
B-138	〔封筒〕	14日	松[]→吉嗣先生貴下	封筒
B-139	郵便物受領証 受取人井出治他32名、4枚の郵便物受領証及び覚書を紙縫りにて合綴		[太宰府郵便局]	綴
B-140-0	〔紐〕 B-140-1からB-140-3までを一括する紐			紐
B-140-1	〔記〕 小字ごとの人名書上、「三条」「馬場」「大町」「新町」「五条」ごとに記す	[近代]		綴
B-140-2	〔記〕 小字ごとの人名書上、「松川」「原田」「北谷」「内山」「塚口」「吉木」「阿志岐」「山家」ごと計28名記す	[近代]		綴
B-140-3	〔記〕 小字ごとの人名書上、「湯町券番」「白木原」「瓦田」「観世」「吉松」「通古賀」「二日市」「湯町」ごとに記す	[近代]		綴
B-141	埋葬認可証 吉嗣拜山の埋葬認可証、「墓地字菅谷大正四年一月十六日午後五時埋葬サス」	大正4年1月11日	太宰府町長 古川勝隆	一紙
B-142	〔断簡〕 「作左衛門」とあり、裏に新聞紙貼付			
B-143	〔布地〕 布地切端3枚、「染上及び生地代共壹枚壹円八十五銭桐箱冠蓋壹個十三銭五厘梅村様注文ニ決ス」などあり			布地
B-144	キ かまほこ代ほか計7円70銭	[近代]	箱治→上様	一紙
B-145	〔記〕 「吉嗣慶左右」とあり			一紙(横折)
B-146-1	再度証書請求書受領証書 期間経過のため小為替請求、振出局は大阪川口	[大正]4.1.22(消印)	[太宰府郵便局]→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-146-2	再度証書請求書受領証書 期間経過のため小為替請求、振出局は愛知知立	[大正]4.1.22(消印)	[太宰府郵便局]→吉嗣鼓山殿	専用紙
B-147	〔雑〕 白紙断簡一括、(明治)43年12月5日付消印のものなどの切手数枚を含む、布の破損甚大	[近代]		封筒・布・一紙
C-1-1	統計簿 下作米収入高、八重子及び慶左右等の学費、拜山貯金預分内訳その他の諸収支の抄録	明治23年~37年		小横帳
C-1-2	〔記〕 下作米代書上カ	[近代]		一紙(横折)
C-2	〔断簡〕 新聞の断簡、日本国憲法公布前後の新聞記事	[昭和]	発行所 夕刊福日新聞社	

C-3	菅公一千二十五年遠祭七卿及志士遺墨展覧出品録 福岡県内及びその周辺から書や和歌など全134点				一紙
C-4	【単語帳】 単語帳カ				竖帳
C-5	【葉書】 笹崎宮一千七百年祭に寄贈する拙画の染筆方法を何う	〔明治33〕(消印)四月廿七日	小山雲泉(大阪市西区北堀江下通四丁目百五十番屋敷)→吉嗣拝山先生		葉書
C-6	記 建具の代価と寸法の書上				一紙(横折)
C-7	【書簡】 未開封	1月10日	入江帆三(新川県)→瀬戸口宗明様(新潟県)		封筒
C-8	【書画】 巖踏避暑図と漢詩、跋記に「避暑テ巖踏川三首」とあり	明治丁亥8月念6日	城山人草		一紙
C-9	【書簡】 拝山遺稿の御恵投への礼状、拝山逝去に対するお悔み、封筒差出人印「福岡懸浮羽郡吉井町鳥越□教」とあり	〔大正7〕(消印)4月26(封筒裏書)	關峰拜→吉嗣鼓山殿		罫紙(封筒)
C-10-1	【図面】 石碑図面、鉛筆書、C-10-1とC-10-2は同折				一紙
C-10-2	【図面】 石碑図面、鉛筆書				一紙
C-11	碑石事件書類 袋のみ	明治30年11月			袋
C-12	【書簡】 古香書屋詩存2冊送付に対するお礼	大正7年6月9日	井上哲次郎(東京小石川区)→吉嗣鼓山様		一紙(封筒)
C-13	【名刺】 日韓農事協会長萩肥料株式会社社長中村正路の名刺				一紙
C-14	記 徳治郎以下5名に関しての人数、金銭の書上	旧10月17日	長谷川徳治郎→吉嗣拝山様		一紙
C-15	【書簡】 県下の事業開始時期について				罫紙
C-16-1	【書簡】 拝山先生御遺稿郵送の礼状	〔大正7〕(消印)4月16日	福嶋雪峰(小倉市)→吉嗣鼓山先生		罫紙(封筒)
C-16-2	【漢詩】 C-16-1に同封、「関坊」の印あり		福嶋雪峰		一紙
C-17	【書簡】 上京に際して大数氏と連絡をとりたき旨を拝山に願う	〔明治34年〕(消印)8月15日	戸早養澤(中津町)→吉嗣拝山先生		罫紙(封筒)
C-18	【書簡】 延喜帝宸翰幕本入手の礼、笹崎文雅会発足について	〔明治33年〕(消印)4月27日	藤澤奉甚(坂府)→拝山賢兄案右		一紙(封筒)
C-19-1	記 横岳名石立直シ積り代金6円60銭の見積書	明治31年11月14日	石工 有吉芳太郎→世話人様		罫紙
C-19-2	記 半紙4状、樫炭1俵代金53銭の受取証	11月13日	井上儀助→上様		罫紙
C-20	【書簡】 新潟県の事情、特に県令の所行等を委しく探便すること	2月2日	萬屋清左衛門(東京浅草材木町)→新潟県下寺町阿部幹三様方ニテ吉嗣拝山様		罫紙(封筒)
C-21	【書簡】 都合三幅の揮毫依頼	〔明治44年〕(封筒)10月22日	島平三郎→橋拝山先生机下		罫紙(封筒)
C-22	【名刺】 村上敬一(尾張国一宮町)の名刺				一紙
C-23	五卿遺墨展覧会出品目録 福岡県内を中心に各地から書や和歌など全97点、昭和10年3月17日開催				一紙
C-24	記 花代ほかの受取証	12月31日	古賀儀平→吉嗣拝山殿		罫紙
C-25	領収書 領収書、拝山先生御遺稿贈与への礼状	大正7年4月25日	聖福寺東流(福岡市御供所町)→吉嗣鼓山殿		一紙(封筒)
C-26	【葉書】 貴書并に御震翰模本の着当御礼と拙画寄附のための寸尺を何う	明治33年4月27日(消印)	小田半信(豊後別府橋本敷方)→吉嗣拝山先生		葉書
C-27	【葉書】 御尊父様遺稿への礼状	〔大正〕7.4.20(消印)	江上景忠→吉嗣鼓山先生		葉書
C-28	【葉書】 御震翰模本奉領への礼状	〔明治〕33年5月11日(消印)	中嶋相陰(熊本県)→吉嗣拝山先生		葉書
C-29	【書簡】 延喜帝御震翰模本并に御状への御礼と期限後の取計についての伺い	〔明治33年〕(消印)4月26日	手島二溪(豊後日田郡豆田町)→吉嗣拝山先生侍史		罫紙(封筒)
C-30	【書簡】 拝山先生遺稿御上梓への御礼	〔大正〕7年(消印)4月17日	竹垞(兵庫県住吉村阿南竹垞)→吉嗣鼓山先生		罫紙(封筒)
C-31	【封筒】		太宰府神社社務所→吉嗣拝山様		封筒
C-32	【書簡】 東祝祭への拙作請求に対し佐々氏への代作を願う		篁所老人→拝山先生		罫紙
C-33	衆議院議員選挙投票所入場券 吉嗣拝山の投票所入場券	〔明治〕31年3月11日	福岡県筑紫郡太宰府町投票所管理齋藤寿七		専用紙
C-34	受領書 金一封、書7枚の受領書	旧11月16日	中邨熊太郎・古賀亀七郎→木邨弥市殿		罫紙

C-35	御請書 払下の石材半坪の請取書	明治30年12月10日	中村熊太郎・佐藤幸三郎代印(筑紫郡太宰府町大字太宰府)	罫紙
C-36	〔記〕 三條町以下地名毎の人名書上、石工・日雇方の人名書上もあり	〔近代〕		一紙(横折)
C-37	古香書屋詩存出版経費目録 合計969円54銭の内訳を記す、目録中第一号から四号の領収証を合綴	大正6年7月～大正7年4月		綴
C-38	日間鎖事録 甲戌9月3日から12月18日までの日記、裏表紙に「甲戌嘉平月廿九日 拜山樓主単冊」とあり	甲戌9月3日から12月18日	〔拜山〕	小横帳
C-39-1	〔書簡〕 拜山の遺品である秘蔵の直筆の紙本幅物、扇子贈与に対するお礼	〔大正4年〕(消印)7月18日	中嶋功一(東京市麹町区)→鼓山先生様	一紙(封筒)
C-39-2	〔書簡〕 拜山逝去に対するお悔みと差上の品一覧、その内絹地返却願、C-39-1に同封	〔大正4年〕(消印)7月11日	中嶋功一→吉嗣鼓山先生様	一紙(封筒)
C-40	〔記〕 ロシア語の単語と訳語を記す			一紙
C-41	〔書簡〕 御遵稿拝受の礼状、永陽集他を進上	大正7年4月21日	土方久元(東京府)→吉嗣鼓山殿	継紙(封筒)
C-42	〔書簡〕 小書画三行を呈す、門人共兩名の詩の誦を添える件について	5月2日	蘭疇→拜山雅兄	継紙(封筒)
C-43-1	諸払金 大藪ほか計7名への支払金額の内訳、C-43-1からC-43-8まで一括			一紙(横折)
C-43-2	記 代金書上、メ金93銭5厘、受取印、墨消あり		高田幸次郎→拜山殿	一紙
C-43-3	記 花染三疋代2円22銭受取証、「請取」印あり	11月16日	稲荷屋治八→吉嗣様	一紙
C-43-4	記 赤油1合、花染代金書上、「請取」印あり	11月15日	いなりや治吉→吉嗣拜山様	継紙
C-43-5	記 酒2升代金として50銭の受取証	12月9日	五條高木半平受取代理 大藪清七→吉嗣様	一紙
C-43-6	記 縄、升代受取証	旧11月16日	五條佐藤卯三郎受取代理 大藪清七→石出し御世話人御中	一紙
C-43-7	記 花木染代66銭ほかの受取証	12月9日	大藪清七→吉嗣拜山様	一紙
C-43-8	記 寿老、老松代金はほかメ4円67銭の受取証、受取印あり	酉12月9日	大藪酒場→吉嗣様	一紙
C-44	〔記〕 「本田平次郎」とあり			一紙
C-45	記 代金受取証、白土屋は蠣灰製造業	11月17日	博多下新川端町白土屋傳次郎→清吉様	一紙
C-46	記 塩瀬1尺8寸代金2円97銭の受取証		笠野屋呉服店→長野殿	専用紙
C-47	〔書簡〕 箱御書付料及び返送料を別紙為替金にて封入	〔大正3年〕(消印)12月30日	村辻通(和歌山市)→吉嗣先生	継紙(封筒)
C-48	〔封筒〕 「謝 上中組」とあり、印字にて「武石源太郎」とあり			封筒
C-49	應神天皇一千七百年奉祝祭文雅会 筥崎宮における奉祝祭、文雅会発起人中、吉嗣拜山は名誉会員	明治33年4月		一紙
C-50-1	〔書簡〕 一千七百歳御奉祝祭執行に際しての書画俳歌の募集について賽銭を郵券にて送付	〔明治〕33年(消印)5月5日	菅橋洲拜→吉嗣拜山先生	継紙(封筒)
C-50-2	賽銭 賽銭を郵券にて送付する旨、C-50-1の別紙	〔明治33年5月5日〕	橋洲拜→拜山先生	一紙
C-51-1	〔上申写〕 中村俊次郎等から桐山権令殿へ上申の旨を申してきたので別紙(C-51-2)の通り写を添えて報告の由、C-51-1と2は合綴	明治8年7月27日	石川郡区長惣代 笠間禮質・河上郡同永山豊郷・能美郡同田辺助正代理 大味惇一郎・江沼郡同断・能登田同断→石川県参事熊野九郎殿	綴
C-51-2	〔上申写〕 県会の件、県庁遺憾につき区長中村俊次郎等不服として大阪上等裁判所に控訴の由報告	明治8年7月19日	中村・本・吉田・池田・江守→石川県権令桐山純孝殿	綴
C-52	〔書画写真〕 甲午秋日写の海屋(印章)の書画の写真(印刷)	〔近代〕		一紙
C-53	〔記〕 字ごとの人名書上、梅大路9名、大町2名、連歌屋11名ほか34名	〔近代〕		一紙(横折)
C-54	前川臯語 漢文、表題のほか「見聞記」「文天祥自贊」、朱書あり			横帳
C-55	石川県官員一覧表 石川県日誌明治8年第7号の付録	明治8年6月7日改正	石川県編輯掛	一舗
C-56	〔書簡〕 東宮御啓の際に拜山が揮毫した「皇儲ヲ拜ス」を一絶揮毫されたしとの依頼	〔明治33年〕(消印)11月7日夜	坂本義一郎(長崎市)→吉嗣拜山先生侍史	一紙(封筒)
C-57-0	〔紐〕 C-57-1～-16を一括			紐
C-57-1	〔封筒〕 表に「吉嗣達太郎殿 福岡県出張所」、裏に「縣廳」(朱印)とあり			封筒

C-57-2	〔辞令〕 主記准席に申付	辛未6月〔明治4年〕	弁官→吉嗣達太郎	封筒
C-57-3	〔達〕 弁官出仕中、月5俵ずつ給付の由	辛未2月〔明治4年〕	福岡藩庁→吉嗣達太郎	一紙
C-57-4	〔願書〕 私病中世話として付けられていた高田龍尾、後藤豊吉の2名、県庁業務に支障が出るだろうから差戻されたき旨	辛未9月20日〔明治4年〕	吉嗣達太郎→福岡県御役所	罫紙
C-57-5	〔願書〕 去る7月9日の事故の件、入院費用は8月まで県庁支給で9月からは自費となったが、いまだ身体不自由につき金80円拝借願う	辛未9月20日	吉嗣達太郎→福岡県御役所	罫紙
C-57-6	覚 福岡藩人が管轄司倒家の下敷きになっているとの通知があり屯所に召連れ医師に見せたところ貴塾の者との由通知	7月9日	神田橋御門御守衛 福岡藩式番隊→ 亀谷以蔵殿	継紙
C-57-7	〔案内状〕 来る14日午後4時上野常盤華壇において吉嗣拝山画伯を御紹介したいので御参加されたいとの案内			一紙
C-57-8	帰県二付旅費勘定 旅籠料金18両以下福岡帰県の旅費の受取明細		吉嗣達太郎→〔福岡県〕	縦帳
C-57-9	〔封筒〕 「福岡県庁」の封印あり		福岡県→吉嗣達太郎殿	封筒
C-57-10	〔達〕 藩用の達に関して明日明後日の間に邸内応接所にて大属引合ある旨を通達	2月30日		継紙
C-57-11	拝借金願書 病院入院費の返納猶予願の下書	〔明治4年カ〕	〔吉嗣達太郎〕	一紙
C-57-12	太政御職明鑑 明治元年太政官官員録、序文書肆平楽寺謹誌	慶応4年戊辰夏6月	御用御書物所	横帳
C-57-13	〔達〕 御用の儀により明5日に出頭すべき旨達す	6月4日	弁官伝達所→吉嗣達太郎殿	継紙
C-57-14	〔達〕 吉嗣達太郎に記録編輯局出仕を申付ける	辛未2月〔明治4〕	弁官→吉嗣達太郎	一紙
C-57-15	〔達〕 御記録編集局出仕につき金80円を与える	辛未2月〔明治4〕	福岡藩庁→吉嗣達太郎	継紙
C-57-16	拝借金願書 病院入院費返納猶予願、付紙に「願之趣以別格承届候事」とあり	辛未12月〔明治4〕	吉嗣達太郎→福岡県御出張所	一紙
C-58	〔単語帳〕 ロシア語の単語帳			縦帳
C-59	県会始末ノ拔萃 明治8年5月から8月にかけての県会及び区会開設始末の拔萃			罫紙
C-60	魯西亜文範第一 ロシア語の文法書			横帳
C-61-0	〔紐〕 C-61-1から12までを一括			紐
C-61-1	〔記〕 「拝山(廿六才ノ夏風災右腕切断)爾後露西亜語研究記念冊子」とあり、題箋カ			一紙
C-61-2	魯西亜文範 第三 ロシア語の文法書			横帳
C-61-3	魯西亜文範 第五 ロシア語の文法書			横帳
C-61-4	魯西亜文範 第七 ロシア語の文法書			横帳
C-61-5	〔単語帳〕 ロシア語の単語帳			縦帳
C-61-6	〔単語帳〕 ロシア語の単語帳			縦帳
C-61-7	〔単語帳〕 ロシア語の単語帳			縦帳
C-61-8	〔単語帳〕 ロシア語の単語帳			縦帳
C-61-9	〔単語帳〕 ロシア語の単語帳			縦帳
C-61-10	魯西亜文典第二 ロシア語の文法書			横帳
C-61-11	魯西亜文範第六 ロシア語の文法書			横帳
C-61-12	〔各県事情〕 大阪、鳥取、岡山、広島、石川、新川各府県の事情を記す、知事、区戸長等に関する記述多し	5月5日		縦帳
C-62	記 カベ中途の費用書上		→拝山様	罫紙
C-63	〔葉書〕 石材納入のため実印と代価携帯のうえ出頭すべき旨通知	〔明治〕30年11月10日	箱崎小林区署→佐藤幸三郎殿(筑紫郡太宰府村大字太宰府)	葉書
C-64	出品目録及略伝 書画の出品目録及び真木和泉、池尻始、水野正名らに関しての略伝を記す			綴
C-65-0	〔封筒〕 C-65-1～2を同封	明治34年4月27日(消印)	戸早養澤(大分県中津町)→吉嗣拝山先生侍史親展	封筒
C-65-1	〔書簡〕 貸金の件につき大藪氏との紹介は山田氏より行い、小生は返事を待つ	4月26日	戸早養澤→吉嗣先生侍史	一紙
C-65-2	来状写シ 御返戻りは大藪氏からの貸金返済後とする	明治34年4月23日	山田卓介(福井市元魚町)→戸早養澤殿	継紙

C-66	【書簡】 「詩存」製本出来につき出版費及び送付方法を通知	4月6日	喜多貞吉→吉嗣鼓山様	罫紙
C-67	【漢詩集】 鳥々歌ほかの漢詩文集写			縦帳
C-68	【記】 住所・氏名の書上、「麻布市兵衛町式丁目四十七番地伊藤退蔵」とあり			罫紙
C-69	【書簡】 宮崎神社御祭典につき拙毫送付の通知	5月7日	星野→拝山吉嗣先生	一紙
C-70	記 11月16日購入の魚代24銭の請求書、受取印あり		魚や平助→拝山様	一紙
C-71	【画稿】 書画及び画讃の下書			継紙
C-72	証 御心付金5円の領収証、朱書「第五」とあり	大正7年4月5日	東京国文社 宮川信二→喜多様	一紙
C-73	【記】 ロシア語単語帳の断簡カ			一紙
C-74	【断簡】 昭和年代の新聞断簡一括			
C-75	【断簡】 白紙断簡一括			
D-1	【漢詩】 漢詩、印章(白文方印)2つあり	天明甲辰之初冬初正		一紙
D-2	【袋】 表に「経済史学」(刷)とあり			袋
D-3	【袋】 表に「経済史学」(刷)「大森金五郎先生」(墨書)とあり、「寄贈」第四種郵便の印あり			袋
D-4-1	宮崎来城先生卒甲寿筵要録 来城先生卒甲寿筵精算会費、支出、決算報告、寿筵費支払書上、松屋旅館ほか計9枚の領収書挟込あり	昭和6年4月3日		縦帳
D-4-2	【領収証】 折箱75人分60円の領収証	昭和6年4月4日	福岡県太宰府町松屋旅館→上様	一紙
D-4-3	記 線香88本代(券番4人、1人につき22本)10円50銭受取のこと	昭和6年4月4日	太宰府券番→吉嗣様	一紙
D-4-4	記 画扇子12本代2円76銭領収のこと	[昭和]6年3月21日	博多土居町一〇武内二橋堂	一紙
D-4-5	仮領収証 状袋100枚代1000円受取のこと	昭和6年3月25日	筑前二日市町荒川商店→豊原殿	一紙
D-4-6	記 通知はがき200枚代1円40銭受取のこと	昭和6年2月14日	福岡県太宰府町椎木印刷所→吉嗣鼓山	一紙
D-4-7	領収証と 作家芳名録ほか2点の印刷代76円領収のこと	昭和6年3月21日	福岡市渡辺通り四丁目電停前秀巧社印刷所 間藤次郎→豊島豊亮様	一紙
D-4-8	領収証 団扇1本代200円受取のこと	昭和6年3月21日	博多川端中橋畔冬至寛一郎商店	一紙
D-4-9	領収証と 「山高冬長集」200冊印刷代1200円領収のこと	昭和6年1月16日	福岡市渡辺通り四丁目電停前秀巧社印刷所 間藤次郎→豊島様	一紙
D-4-10	記 「詩人大會案内はがき」など印刷代6円39銭受取のこと	昭和6年3月29日	福岡県太宰府町椎木印刷所→吉嗣鼓山殿殿	一紙
D-5-0	【封筒】 「昭和四年五月六月普譜受領証入」とあり、D-5-1~8はD-5-0に同封		吉嗣鼓山	封筒
D-5-1	記 釣せん30匁代16銭ほか21品目の代銭受取証、「請取」の印あり	昭和4年6月12日	筑前太宰府古川商店→吉嗣鼓山様	専用紙
D-5-2	記 米杉ヤキモク板代金6円60銭の受取証、領収印あり	大正(昭和カ)4年5月18日	福岡県太宰府町平田材木店→上様	専用紙
D-5-3	記 瓦サシほかの賃金6円60銭の受取証、不老治人は左官職人カ	昭和4年7月18日	不老治人→吉嗣様	継紙
D-5-4	記 黒煉瓦ほかの代金56円82銭9厘の受取証、領収印あり	昭和4年6月17日	有岡百吉→上様	一紙
D-5-5	記 セメント5樽代ほかの代金191円89銭5厘の受取証	昭和4年6月15日	筑前二日市中川家具店→吉嗣先生様	継紙
D-5-6	記 黒硬化煉瓦7000個ほかの契約証、ペン書にて5月29日に手付金20円受取の旨を記す	[昭和4年5月28日]	筑前二日市中川商店→太宰府五五番不老次八殿	専用紙
D-5-7	記 5月14日から6月3日迄の材木入用費93円53銭の受取証	昭和4年6月14日	筑紫郡太宰府町杉村材木→吉嗣鼓山様店	横帳
D-5-8	記 門移転ほかにかかる工賃53円25銭の受取証	6月17日	松岡工材→吉嗣様	罫紙
D-6-0	【封筒】 「太宰府参詣旅行手形肥後藩十通一円」とあり			封筒
D-6-1	手形 松尾宅平及び小者貞吉の英彦山参詣に際しての往来手形	寛政12年2月	玉名郡御惣庄屋 松尾多助→南関口御番所	一紙
D-6-2	手形 菊池郡御郡医師宇七の太宰府参詣に際しての往来手形	寛政11年4月	平井勘兵衛→南関御番所	一紙
D-6-3	証文 山本郡投刀塚村理七の用事のため筑前表への往来手形	寛政12年2月朔日	山本郡御惣庄屋河野八兵衛→南関御番所	一紙

D-6-4	手形 妙解寺支配医師吉見健純、太宰府参詣に際しての往来手形	寛政12年2月8日	不破万平→南関右田三郎助殿	継紙
D-6-5	手形 妙解寺行者生駒智春太宰府天満宮参詣に際しての往来手形	寛政12年2月19日	渡辺善左衛門→南関右田三郎助殿	一紙
D-6-6	手形 熊本東十口町松田嘉三郎他4名の太宰府天満宮参詣に際しての往来手形	寛政12年2月17日	不破万平→南関右田三郎助殿	一紙
D-6-7	手形 八代郡下豊原村卯平次他3名の太宰府天満宮参詣に際しての往来手形	寛政12年2月17日	御惣庄屋小田字七→南関御関所	一紙
D-6-8	証文 玉名郡大浜町富田文平、小者養助の太宰府参詣に際しての往来手形	寛政12年8月20日	玉名郡御惣庄屋松尾多助→南関口御番所	一紙
D-6-9	南関口可被指通女之事 八代郡下豊原村むめ以下女性5名の太宰府天満宮参詣に際しての往来手形	寛政12年2月13日	白石清兵衛→南関右田三郎助殿	継紙
D-6-10	手形 菊池郡一領寺正徳永宇七下人左平太宰府参詣に際しての往来手形	寛政11年4月	平井勘兵衛→南関御番所	一紙
D-6-11	覚 内田甚左衛門、徳永半平の宰府天満宮参詣につき番所通過のこと	8月22日	村上傳兵衛・平野太源太→南関右田三郎助殿	一紙
D-6-12	覚 私組外様足軽永田喜三の宰府天満宮参詣につき番所通過のこと	8月19日	牛嶋伊三太→南関右田三郎助殿	一紙
D-7	〔葉書〕 父与平死亡の通知	(明治)38年(消印)6月29日	富士与吉(大濱町四丁目)→拝山先生	葉書
D-8	〔記〕 ロシア語の単語の書上			一紙
D-9	〔包紙〕 「未調査」とあり			一紙
D-10	葬儀仕払控帳 葬儀に関する諸費目の入払帳	大正4年1月12日	会計主任有吉林太郎	横帳
D-11	〔墨跡〕 前欠			継紙
D-12	吊辞 故拝山先生への弔辞、拝山先生の学徳をたたえる	大正4年1月16日	太宰府進徳会長古川勝隆	継紙
D-13	〔弔文〕 「吉嗣拝山大人のみまかりたまへるをいたみまつりし 信充」とあり		〔信充〕	一紙
D-14	吊詞 故吉嗣拝山への萱島秀山よりの弔詞	大正4年1月16日	友人惣代萱島秀山	継紙
D-15	奉悼 故吉嗣拝山先生への弔詞、包紙に「弔詩」とあり		弟子藤瀬洵再拜→吉嗣拝山先生	一紙 (包紙)
D-16	〔吊歌〕 「拝山翁の身まかりの時」に玄銀の詠んだ弔詞		玄銀	短冊
D-17	〔包紙〕 「吊歌広瀬玄銀」とあり、D-16の包紙カ		広瀬玄銀	包紙
D-18	〔弔句〕 「思いきや空き便りの春過し」とあり		自生	短冊
D-19-1	〔弔歌〕 「吉嗣拝山翁の身まかり給ひけるを悼みて」とあり、D-19-1からD-19-3は包紙にて一括		〔宮本善三郎〕	短冊 (包紙)
D-19-2	〔弔歌〕 「拝山画伯の訃音をきゝたる日福岡日々新聞に掲載せられし君か試草の詩をよみて」とあり		〔宮本善三郎〕	短冊
D-19-3	慰弔 拝山への弔歌		宮本善三郎	一紙
D-20	恩師三十日祭恭賦奉薦 故吉嗣拝山への弔詞		門弟子 杉野僊山	一紙
D-21	〔包紙〕 「吊詞」とあり			包紙
D-22	〔包紙〕 「吊詞 伊藤鴛城」とあり、D-23の包紙カ		伊藤鴛城	包紙
D-23	献薦次均 拝山先生三十日祭に際しての弔詞		伊藤謙	一紙 (横折)
D-24-1	〔吊歌〕 弔歌「捧拝山翁御壺」、包紙に「弔詞村田剛四郎」とあり		村田剛四郎〔光剛〕	短冊 (包紙)
D-24-2	〔吊歌〕 弔歌「拝山翁の御魂を吊ひまいらせん」		村田剛四郎〔光剛〕	短冊
D-25	祭詞 故吉嗣拝山への祭詞、関防印(白文長方印)、印章(朱文方印)2つあり		山田方策	一紙 (包紙)
D-26	〔弔歌〕 故吉嗣拝山への弔歌、裏に「七十九才田中喜兵衛」とあり		一信	短冊
D-27	〔短冊〕			短冊
D-28	〔漢詩〕 七言絶句、「御題出船」とあり、関防印(白文長方印)、印章(白文、朱文方印)2つ	昭和28年元日	鼓山恭賦	短冊
D-29	〔包紙〕			包紙
D-30	〔書跡〕 「結縁翰墨」「為鼓山氏」とあり、関防印(白文長方印)、印章(白文、朱文方印)		正二位基弘	一紙
D-31	〔漢詩集〕 「聲調譜」ほかの漢詩文の写			縦帳

D-32	〔書跡〕 「御免」とあり				一紙
D-33	覚 11月26日分の鯉2本ほかの代金77銭4厘の受取証、「請取」の印あり	11月28日		紙屋太吉→上様	一紙
D-34	記 旧11月16日分の上等物金巾1枚、27日の上等物金布4尺ほか代金95銭9厘の受取証	旧11月28日		稲荷屋次助→上様	一紙
D-35	証 薄紗4尺の代金受取証、「請取」の印あり	旧12月27日		いなりや次八→拝山様	一紙
D-36	記 代金12銭5厘の受取証	11月28日		八百源七→上	一紙
D-37	記 旧11月25日～27日間の品物代金1円7銭5厘の受取証	旧11月28日		梅田屋弥平→上様	一紙
D-38	記 1月5日と6日の御酒代、1円29銭5厘の代金受取証、「請取」の印あり	明治16年1月7日		米屋幸作→吉嗣拝山様	一紙
D-39	記 12月28日と1月1日～6日間の金1円39銭4厘の受取証	1月7日		七十屋商店→上様	一紙
D-40	記 酢5合ほかの代金14銭の受取証	1月7日		米屋権七→拝山様	一紙
D-41	証 旧11月27日の縄ほかの代金80銭の受取証、受取文言は異筆	午旧11月28日		雪屋勘左衛門→吉嗣拝山様	一紙
D-42	記 旧11月27日の、板ほかの代金57銭5厘の受取証	旧11月20日		旭屋弥一→吉嗣拝山様	一紙
D-43-1	〔計算表〕 拝山序文あり、講への預金者48名の人名書上、表題のほか「深澤伊三郎へ預金計算始末」を収む	明治12年丑卯端月		拝山	縦帳
D-43-2	覚 金26銭5厘の受取証、D-43-1中に挟込み	11月22日		仲→上	一紙
D-43-3	〔罰紙〕 白紙、D-43-1中に挟込み				罰紙
D-43-4	〔覚〕 「壁陰室隨筆」と欄外にあり、七言絶句3首、D-43-1中に挟込み	丁丑5月重訂			罰紙
D-44	吏胥必携牧民心鑑直解巻ノ下 「賦役」ほか35項目に関しての心得を記す			携李朱逢吉編	縦帳
D-45	選刻扇譜叙 扇面の墨画の写	己酉初年繕写		丹丘源重寧	綴
D-46	〔墨画帳〕 「陳子和双鷺図」ほか墨画及び讀の写				縦帳
D-47	〔墨画〕 柑、梅、西瓜等の墨画				一紙
D-48	〔書跡〕 「去美務実」とあり、関防印、印章(朱文、白文方印)2つ			正二位久元	一紙
D-49	〔印章〕 印章数種を押印、一部切抜あり				一紙
D-50	霜毛勝遊詩稿 耶馬勝遊稿、「明治十六年四月赴キ」とあり、耶馬溪に遊ぶ時の詩集				縦帳
D-51	摘語 表題のほか「翰墨纂註品評拔萃」を収む、裏に「井口吾平」「堀川芥山」と朱書あり				縦帳
D-52	鄙稿 「春郊試歩」ほかを収む、裏表紙裏に「乙丑季冬 林臣人批」と朱書あり	自元治紀元申子歳到慶応紀元乙丑歳		伏請吉嗣達之進	縦帳
D-53	江南游草第二 表題のほか「西湖游覽雜詩」を収む、「襟懐高曠筆致秀逸其 永之神耐人尋味子 錢擇談後識」とあり				縦帳
D-54	擬為日本約支那伐魯西亜書 明治初期の対露警戒論について				縦帳
D-55	獲麻解 「麻之為症昭々也本於黴 於春秋雜出於權貴田家之人雖婦人小子皆知其為毒也(後略)」とあり				罰紙
D-56	梅莊探秋芳記 「叱正伏乞某再拜」とあり、罰紙外に「吉嗣」とあり				綴
D-57	夢記 「吾平昔好讀書經史筆案之外復不知有他也(後略)」とあり				綴
D-58	掃画之舎仮規 「書画ノ舎」に関する規約写			大城谷植権一ほか13名	縦帳
D-59	鄙稿 「正保公所藏孝勤書軸文」を収む、正保は筑前之藩士四宮正保	慶応3年丁卯如月		佩山吉嗣達撰	縦帳
D-60	一夜百首詩草叙 「春宵対月」ほかを収む、西肥鹿島八澤彰選の叙と澗□の自序あり	(慶応紀元乙丑之冬12月中)			縦帳
D-61	素漢貧論 「味噌之味噌臭非上味噌也学者之学者臭非真学者也(後略)」とあり	辛未6月朔日		放屁生題	縦帳
D-62	明治十五年内国絵画共進会審査報告 表紙に「太宰府入江秀吉」の付箋あり	明治16年9月25日		農商務省博覧会掛	縦帳
D-63	〔新聞〕 明治16年10月12日付福岡日日新聞	明治16年10月12日		福岡日日新聞社	一紙
D-64	俚藁 「秋晚咸宜園作」ほかを収む			吉嗣達之進再拝	縦帳

D-65	圍碁外 「叱正伏乞某再拜」とあり、欄外に「吉嗣」とあり			巽紙
D-66	中秋作 「叱正伏乞某九拜」とあり、欄外に「二句不妄」(朱書)とあり			巽紙
D-67	咏小督 「愁雲籠素月 澹情如何(後略)」とあり、欄外に「以下再改」(朱書)とあり			巽紙
D-68	梅莊探秋芳記 後欠			巽紙
D-69	題 「孝女白菊詩」を収む			一紙
D-70	推敲 「春江送客図」ほかを収む		達之進再拜	豎帳
D-71	鄙稿 「秋晚咸宜園作十五」ほかを収む、表紙に「慶応紀元乙丑之秋与二三宮謀焉賦三十韵今録十有五韵」とあり	慶応紀元乙丑之秋	吉嗣達之進再拜	豎帳
D-72	高山彦九郎伝 「上野新田郡細谷村人也其先遠江守某建武之乱属左中将源義貞勤王所謂十六騎当之一也(後略)」とあり	元治3年乙丑仲春		豎帳
D-73	鄙稿 「長三洲自北征婦賦贈」ほかを収む		廣孝再拜	豎帳
D-74	帆足先生並諸弟子逸事全 帆足先生並びに真城野本ほか弟子に関する逸事			豎帳
D-75	無間稿 表題ほか「瘦丈人承鯛図後」などの俚文を収む			豎帳
D-76	〔漢詩集〕 「甲楠公詩序」「詠懷古跡詩」「吊菅公文」を収む		藤田彪撰、長谷川正彝校	豎帳
D-77	俚詩未定稿 「秋江釣月」ほかを収む		福家新九拜	豎帳
D-78	拙文稿 「論草田法」を収む、後欠			豎帳
D-79	敬請諸人孫先生指政拜□吉嗣達未定草 「五月十七日赴蘇州舟中作」ほかを収む			豎帳
D-80	日本外史論贊拔萃 平氏、源氏、北條氏、新田氏の略歴			豎帳
D-81	鄙藁 春江送客図、春雨、竹等の俚稿を収む、文末に朱書にて「省致行妄評」とあり		吉嗣達之進再拜	豎帳
D-82	鄙藁 首春赴秋月途中作ほかの鄙稿を収む、文末に朱書にて「丙寅季冬林外批」とあり		吉嗣達之進拜	豎帳
D-83	鶴城雜詩 表題のほか「唐津八勝吟」を含む、朱書にて辛巳2月の吉田利行の僭批あり			豎帳
D-84	画論拔萃 「越後奉陽白井廣士潤著画乘略拔萃」ほかを収む			豎帳
D-85	〔書簡〕 閣下画筆一揮依頼の遅れを詫げる	10月8日	本願寺別院在留龍湖靈鳳→拝山吉嗣士吟堙老先生	豎帳
D-86	動物体ヲ酒精ニ貯フル法 表題のほか「乾道ニテ小蟲ヲ貯フル法」「果実等ヲ貯フル法」を収む		高橋当吉→拝山先生	豎帳
D-87	擬為日本約支那伏羲西亜書 支那を兄弟、隣国とし、魯西亜は傲慢暴奪とす			綴
D-88	山家圍碁 欄外に「吉嗣」とあり、白石法泉(朱書)の叱正あり		伏乞某再拜(吉嗣拝山)	巽紙
D-89	観古刀 朱書叱正あり		伏乞某再拜(吉嗣拝山)	巽紙
D-90	読閣龍伝 欄外に「吉嗣」とあり、朱書叱正あり		伏乞某再拜(吉嗣拝山)	巽紙
D-91-1	請券 幣5円の受取証	3月23日	拝山→春日三郎様	一紙
D-91-2	請券 幣2円50銭の受取証	3月23日	拝山→樋口甚三郎様	一紙
D-92	請券 幣5円の受取証	3月23日	拝山→益田先生	一紙
D-93	受取帳 赤星研造ほかからの受取金額の書上			豎帳
D-94	請券 幣5円の受取証	3月23日	拝山→下澤善右衛門様	一紙
D-95	俚詩 秋夜夢故山を収む、「一練為住作可練可練又可練」とあり、朱書叱正あり		伏乞某再拜(吉嗣拝山)	綴
D-96	遠思樓集外編 完 裏表紙に「三遠堂詩集卷之一昨夜海棠」とあり	庚申2月12日	門人阿波柴葦拜	豎帳
D-97	〔漢詩〕 長崎を詠む、「諏訪祠頭秋祭日」とあり	壬辰重陽日(明治25)	桂樵→拝山詞宗在長崎	一紙
D-98	〔漢詩〕 「雪暁」、「寒夜」など			巽紙
D-99	二十四詠評語 拝山に関して「拝山氏生長其地熟聞其古故能詠能述況其人具有真才真学詩(後略)」とあり	明治壬午3月	崎陽岡田篁所	一紙

D-100	既望泛墨江 漢詩、欄外に「吉嗣」、「一 信屈」とあり		伏乞某再拜〔吉嗣拜山〕	罫紙
D-101	丁丑詩文稿 「廿五梅詩」ほかを収む、朱書訂正あり			罫帳
D-102	〔記〕 洋学論その他の草稿			罫帳
D-103	近世諸家文集 南山日記叙ほかの漢詩文を収む			罫帳
D-104	記 金銭書上、支払残高、預り金額を記す	10月5日		一紙
D-105	霜毛日記 5月8日～13日にかけての姑南、拜山、竹城、春石工の有馬溪探勝の日記		〔明治16年〕	罫帳
D-106	梅 「漢源画譜花中光長老画梅指迷」とあり			罫紙
D-107	争鹿稿 辰之進の漢詩文を合綴、朱書叱正あり		辰之進	罫帳
D-108	俚詩 初夏即事 「險韵如意筆力扛日折」とあり、朱書叱正あり		伏乞某再拜〔吉嗣〕	罫紙
D-109	〔漢詩文〕 欄外に「佳作」とあり、朱書叱正あり			罫紙
D-110	謁楠公祠 欄外に「吉嗣」とあり、朱書叱正あり		伏乞某再拜〔吉嗣〕	罫紙
D-111	備忘録 丙寅8月～9月にかけての日記		三遠堂主人	罫帳
D-112	馬溪攬勝詩稿 馬溪滞在の折に作成したものの詩稿			罫帳
D-113	鄙稿 「春雨」ほかの漢詩文を収む、乙丑6月賢齡による朱書旨批あり		達之進再拜	罫帳
D-114	寒玉音 「由紅橋至平山堂」ほかの漢詩を収む			罫帳
D-115	〔楠公慰文〕 奥書に和歌2首あり			罫帳
D-116	二十五梅集 「小弟拙作得高雌幸甚達之評既在別稿」とあり、朱書叱正あり			罫帳
D-117	〔漢詩集〕 唐津を詠んだ詩文集、墨書による修正あり			罫帳
D-118	江南遊艸 「赴鎮江舟中作」ほかの漢詩文を収む、「光緒四年清和月子琴錢懌織」とあり、叱正は錢懌カ		拜山頓首	罫帳
D-119	俚文 「題淵明採菊図後」ほかの漢詩文を合綴、朱書叱正あり		辰之進	罫帳
D-120	竹雨齋詩抄 「感懷」ほかを収む、奥書に「文久元年春三月於美春書屋偶写梅塢吉嗣達之進領」（朱書）とあり			罫帳
D-121	記夢 漢詩文、裏面に朱書あり			罫紙
D-122	俚藁 「送文園上遊不二山」を収む		拜山樵者吉達草	罫帳
D-123	諸品取帳 豆ふ5丁代9銭ほかの金銭書上、割印あり	明治16年1月5日	吉嗣拜山	横帳
D-124	〔漢詩集〕 「夢遊芳野」他数編を収む			罫帳
D-125	月瀬十二勝 墨画、谷間の風景を描く			罫帳
D-126	諸品取帳 竹ほかの代金書上	明治16年1月5日	吉嗣拜山	横帳
D-127	丁卯未定稿 三遠堂詩集、朱書にて訂正あり	〔丁卯〕		罫帳
D-128	王克三伝 漢詩集、表題のほか「徐雨停傳」などを収む		〔慶応紀元乙丑夏6月～秋7月〕	綴
D-129	〔包紙〕 「吊詩」とあり			一紙
D-130	観花有感傲 祇南海念仏蓮體 朱書訂正あり		淵草上	一紙
D-131	〔記〕 前欠、「古説ヲ参考スレバ・・・」とあり、D-132の続きカ			罫紙
D-132	〔記〕 古画を弁ずる内容あり、前後欠			罫紙
D-133	〔草稿〕 書画の画風画法について、禅州之画門愛弟煌園とあり	12月念2日	倉野煌園拜→吉嗣拜山先生	綴
D-134	〔草稿〕 書画の画風について、煌園は商家の出身		煌園→拜山先生	罫紙
D-135	高山彦九郎伝 「高山正文字仲繩称彦九郎上野新田郡細谷村人也(後略)」とあり、後欠			一紙
D-136	〔草稿〕 物産社の併合を説く、品目概略、社則を収む			罫帳
D-137	〔書簡〕 拜山吉嗣翁の死去に対するお悔み、末尾に「安芸廣島橋居鷺城伊藤謙拜具」とあり	大正4年1月15日	伊藤謙	一紙
D-138	〔漢詩〕 「地振江湾是富強恰遇捕鯨好時節海御風味湿飢腸」ほか			罫紙

D-139	〔書簡〕 高知藩人の擾紛、民部省への建言などについて、「大坂にて認」とあり	12月8日	泰雄→吉嗣賢友	罫紙
D-140	〔漢詩文〕 「而学彼術於海島之一隅也雖然学之後恐亦将人之謂之老人之糟粕也(後略)」とあり			罫紙
D-141	〔書跡〕 「御免」とあり			一紙
D-142	争鹿稿 「送仁郷婦荅州」、後欠		辰之進	一紙
D-143	奉送 「井上巽野君航于海外」、「追悼耕石中西先生」を収む			罫紙
D-144	読々情史 漢詩、朱書叱正あり		伏乞吉嗣達太郎再拜	罫紙
D-145	広告 菅公の祭日に書画を各府県の小学校教師と生徒から募集する広告、同一広告4枚あり	明治9年丙子5月	太宰府神社書画筵幹事	一紙
D-146	読鐘情録 漢詩、朱書訂正あり			罫紙
D-147	征韓論 「夫韓之貢獻服従於我也」ではじまる、後欠			罫紙
D-148	〔漢文〕 「雖文学者流亦以道自任可謂儒矣試講大学正之講之」ではじまる			一紙
D-149	〔書簡〕 前欠「割■氏ヨリ昨鳥出来持参り候間、即御覽ニ入申候」とあり	小第九	吉嗣→立膝様	一紙
D-150	請 「金札三拾兩」の請書、認印あり	3月15日	大島均一郎→吉嗣辰太郎様	一紙
D-151	送奥田少参事赴任佐渡県 奥田小参事の佐渡県赴任に際し詠んだ漢詩、朱書訂正あり		伏乞某再拜〔吉嗣〕	一紙
D-152	〔漢詩〕 「送丹君之倫敦」ほか数編			一紙
D-153	俚詩 「題逝矣稿後」を収む、朱書訂正あり		達之進再拜	縦帳
D-154	晚翠楼記 漢詩集、表題のほか「歌格新論序」「題義人録後」などを収む			縦帳
D-155	訪 漢詩、「拜山吉嗣先生賦一絶(後略)」とあり、関防印あり		知来函人拜艸	一紙
D-156	読 「拜山先生耶馬溪佳稿有感他日有此寄」とあり、関防印あり		東肥知来加藤俊篤再拜首	一紙
D-157	〔白紙〕			一紙
D-158	〔葉書〕 移転の知らせ	2月19日	桑野貫次郎(東京神田区猿楽町二十四番地大熊半次郎方)→吉嗣拜山様	葉書
D-159	夕陽射嶽楼記 漢詩			罫紙
D-160	〔記〕 水戸藩士族岡部藤之進ほか入塾者の人名書上、前欠	辛未2月28日	少史亀谷行→第五三ノ区御取締御中	一紙
D-161	寒玉音叙 漢詩	辛未3月上澣	古香劉樹	綴
D-162	加州精製紫雪効験并服法 薬の効用と服法を記す		加州金澤片町宮竹屋亀田伊右衛門	一紙
D-163	送井上櫻亭帰郷序 漢詩、朱書叱正あり		伏乞某再拜〔吉嗣〕	一紙
D-164	書自画水山後 漢詩、朱書叱正あり		伏乞拜山再拜	罫紙
D-165	〔願書〕 風災による手足挫折の入院費用について、公費から私費になり困迫しているため80円を拝借したいとの願書		〔拜山〕	罫紙
D-166	題四十七士襲吉良氏囟 赤穂義士之復仇についての漢詩、朱書叱正あり		伏乞某再拜	一紙
D-167	記事 「天比理刀 命社在房州安房郡洲宮村(後略)」とあり、朱書叱正あり			綴
D-168	送生田復堂北越序 漢詩、朱書刪正あり			綴
D-169	読高山彦九郎伝 「夫気節之士軽孔重道常山々千乱世而不出干治世也」ではじまる			一紙
D-170	清遊小品 「題画」ほかの七言絶句を収む		日本市河峻百山著	罫紙
D-171	箱崎公園記 箱崎公園についての漢詩		福岡県令従五位勲四等渡邊清撰	罫紙
D-172	咏梅二十五首 「梅」ほか24首の七言絶句を収む、桂樵聖人による朱書叱正あり			縦帳
D-173	書二十四詠首 「拜山氏生長其地熟聞其古故能詠能述」とあり	明治壬午3月	崎陽知篁所岡田穆	罫紙
D-174	〔袋〕 「紫雪」とあり、薬袋カ、裏に「加賀金沢宮竹屋亀田伊右衛門」とあり		鸞集堂	袋
D-175	米国郵便船案内記 乗船料、出港日など	明治8年2月改	〔米国郵便問屋〕本社	一紙
D-176	〔和歌〕			一紙

D-177	〔漢文〕 前欠、岡田三左衛門(後新右衛門)について		秋月吉田喜三兵衛炳虎誌	綴
D-178	俚藁 「青邨先生将自府内帰賦此以待」ほか漢詩数編を収む、「枕山」の朱書叱正あり		拜山吉嗣達再拜	縦帳
D-179	記事 「天比理刀 命社在房州安房郡洲宮村」とあり、「靈龜献鯨記」(朱書)とあり			罫紙
D-180	推敲 登富嶽 漢詩、朱書叱正あり		吉嗣達拜稿	罫紙
D-181	〔漢詩〕 前後欠、「楠公則延臣之裔而畿之民也」とあり			一紙
D-182	〔梅莊探秋芳記〕 前欠、冒頭で国防と国際事情を論ずる、表題の他に「贈岡本兄」など数編の漢詩を含む			縦帳
D-183	〔張船山詩鈔〕 「湘陰」ほかの漢詩を収む、第2丁に「筑洲鎮西都府吉嗣達之進蔵」(朱書)とあり			縦帳
D-184	書鐘情録後 漢詩、朱書叱正あり			罫紙
D-185-1	補景奇石法 「山水中ノ石面皴法ト花鳥及四君子ニ補景ヲナス奇石ノ皴法ハ法ハ同クシテ葦意自ラ異ナリ(後略)」とあり			罫紙
D-185-2	点苔法 漢画指南			罫紙
D-186-1	山水 山水画の指南を記す			罫紙
D-186-2	弁各画洞天清録 漢画指南、表題のほか「画論」あり			罫紙
D-187	崎陽雜詩孟蘭盆祭詩 表題のほか「熊本城下作」を収む			罫紙
D-188	〔漢文〕 「于家側三年郷郡称之事聞」ではじまる			一紙
D-189	〔墨蹟〕 前後欠、漢詩文		鴻濠氏程大約著、和光氏周之訓書	一紙
D-190	小西湖十愛 漢詩文、朱書叱正あり			縦帳
D-191	江南游州第二釘 「五月十七日与吉堂棹月二兄赴古呉舟中卒作」ほかの漢詩を収む		伏乞電叱 拜山初稿	縦帳
D-192	読高山彦九郎伝 漢詩、朱書叱正あり		伏乞某頓首	綴
D-193	草稿 「春郊」ほかの漢詩を収む、「乞玉斧」とあり	明治14年初夏	石澗	縦帳
D-194	題群警評古器図 漢詩、朱書叱正あり		伏乞某再拜	一紙
D-195	由紅橋至平山台 漢詩、「白千尋青一髮青者筑波山白者連嶽雪」とあり		陶元藻	罫紙
D-196	送人之蝦夷序 欄外に「吉嗣」とあり、朱書訂正あり			綴
D-197	秦始皇論 欄外に「吉嗣達太郎」とあり、朱書訂正あり		伏乞某拜〔吉嗣〕	綴
D-198	香遠処記 朱書訂正あり、欄外に「一変己道」(朱書)とあり			罫紙
D-199	送人之支那序 後欠、朱書訂正あり、帳外れ			綴
D-200	洋学論 朱書訂正あり、「吉嗣」とあり			綴
D-201	読々情史 漢詩、訂正あり			罫紙
D-202	飯山文存序 欄外に「吉嗣」とあり、朱書訂正あり			綴
D-203	遊横浜 欄外に「吉嗣」とあり、朱書訂正あり		伏乞某再拜	罫紙
D-204	寒玉音自序 朱書訂正あり			綴
D-205	読々情史 漢詩、朱書訂正あり			罫紙
D-206	寒玉音自序 「余曾讀和漢諸家詩抄其警拔者録為一卷(後略)」とあり	庚午冬抄	拜山人吉嗣達并書	綴
D-207	読々情史 漢詩、朱書訂正あり		達太郎再拜	罫紙
D-208	送生田復堂帰北越序 後欠、朱書訂正あり			罫紙
D-209	読鴉片始末 朱書訂正あり、欄外に「吉嗣」とあり			罫紙
D-210	送生田復堂帰北越序 後欠、朱書訂正あり			罫紙
D-211	〔漢詩〕 前欠、朱書訂正あり、D-210の後半部分カ			罫紙
D-212	小稿 「雜詩」ほかを収む、「乙亥仲夏 草岳妄批」(朱書)とあり	乙亥9月22日	態谷忍定	縦帳
D-213	送巽軒井上君航于海外 井上君の海外航行に際して詠んだ漢詩			罫紙
D-214	広告 書の展示会を明治10年4月2日～5月3日まで開催する旨の広告	明治9年丙子5月	太宰府神社書画庭幹事	一紙

D-215	鰥園記 欄外に「人唯不知其憩於所不憩而不憩於所憩也」(朱書)とあり、朱書訂正あり			罫紙
D-216	鰥園記 朱書訂正あり	伏乞吉嗣達再拜		罫紙
D-217	〔漢詩〕 前欠、朱書訂正あり			罫紙
D-218	回天詩史序 朱書訂正あり、欄外に「吉嗣」とあり	伏乞某再拜〔吉嗣〕		罫紙
D-219	読高山彦九郎伝 朱書訂正あり、「文 而少要刪吉為可」(朱書)とあり	吉嗣達拜		綴
D-220	把翠樓記 朱書訂正あり			罫紙
D-221	甲戌雑詩 表題のほか「乙亥詩藁」「丙子稿」を収む、旅先において詠んだ漢詩			縦帳
D-222	江南游艸 「赴鎮江舟中」ほかの漢詩を収む			縦帳
D-223	焚藁 「足利直義論」「平知盛論」を収む、表紙に「亭林外関」(朱書)とあり			縦帳
D-224	〔漢詩〕 漢詩文写、「中山鄭徳潤謹稿」などあり			縦帳
D-225	錢別控 常修坊などからの錢別金書上			小横帳
D-226	〔書簡〕 松本の帰府の知らせ	4月15日	宗恂→吉嗣[]	一紙
D-227	鄙藁 「辱知簞所岡田穆妄評」とあり太宰府十二勝を収む、表紙に「敬求斧正」の貼紙あり	明治壬午3月		縦帳
D-228	俚稿 太宰府十二勝を収む、表紙に「敬求申拜山謔人孫先生斧正」とあり			縦帳
D-229	読情史 「千古住人不嘆落花飛雨者稀一得高文九原吐氣九万拜批」(朱書)とあり			罫紙
D-230-0	〔籐籠〕			籠
D-230-1	題都府樓古瓦 都府樓古瓦を詠んだ漢詩			罫紙
D-230-2	〔各種顔料価目〕 絵林堂漂浄各種顔料価目			一紙
D-230-3	〔雑〕 名前札と未開封の袋あり			一紙、袋
D-231	〔風呂敷〕			風呂敷
E-1	〔封筒〕 封筒上書「明治六年頃ノ拜山草稿田中種光ノ為ニ代作シタル馬医議案文稿此二冊ノ中ニ在リ」「本文ノ写シテ西高辻ニ保存ノ為メ差出ス」とあり			封筒
E-2	〔草稿〕 明治元年9、10月と明治2年4月から12月までの拜山日記のほか「通鑑抜粹」「田中種光白馬療之議」「各地投函録」などについて記した雑記帳	〔明治〕		縦帳
E-3	東游吟稿 巻末に金子堅太郎など84名の住所と名前を記した「人名録」を付す	明治壬子起5月2日 終28日		縦帳
E-4-1	家翁印譜 全 挿入文書あり		古香室鼓山識	縦帳
E-4-2	〔新聞切抜〕 九州日日新聞切抜「拜山画伯の半生」、E-4-1に挟込み	大正3年3月29日		一紙
E-5	拜山奚囊 表紙に「遺稿編纂ニ付参考用」とあり、「骨筆題詠」「江南統游艸」を収録			縦帳
E-6	鎮西独臂王印唱和詩 「賜琴石齋西道仙」「雲來髯史」などの詩を収録			縦帳
E-7-1	庚午文藁明治三年起 挿入文書あり			縦帳
E-7-2	〔記〕 「秘 馬医議案 田中種光ノ為ニ拜山代作」とあり			一紙
E-7-3	〔記〕 田中種光と拜山の年譜書上			一紙
E-8	上智大学 国文学科紀要 第26号 長尾直茂「吉嗣拜山年譜稿(訂補之二)」を収録			冊子